

黒谷上人伝

特36
866

017660-001-3

特36-866

黒谷上人伝絵詞

西村 九郎右衛門/校

上

M22.5

ABF-0558



明治三十二年五月發行

黑谷上人傳

京都書林三書館藏版

黑谷上人傳繪詞第一目錄

一卷 序 出胎事

卷一 定明通電事

卷二 小舟上洛事

卷三 音頭入洛事

卷四 出家事

卷五 黑谷隱居事

卷六 嵯峨釋迦堂恭詣事

卷七 南都渡給事

卷八 仁和寺華嚴談義事

卷九 慈眼房法談事

時國死門事

菩提寺入室事

同登山事

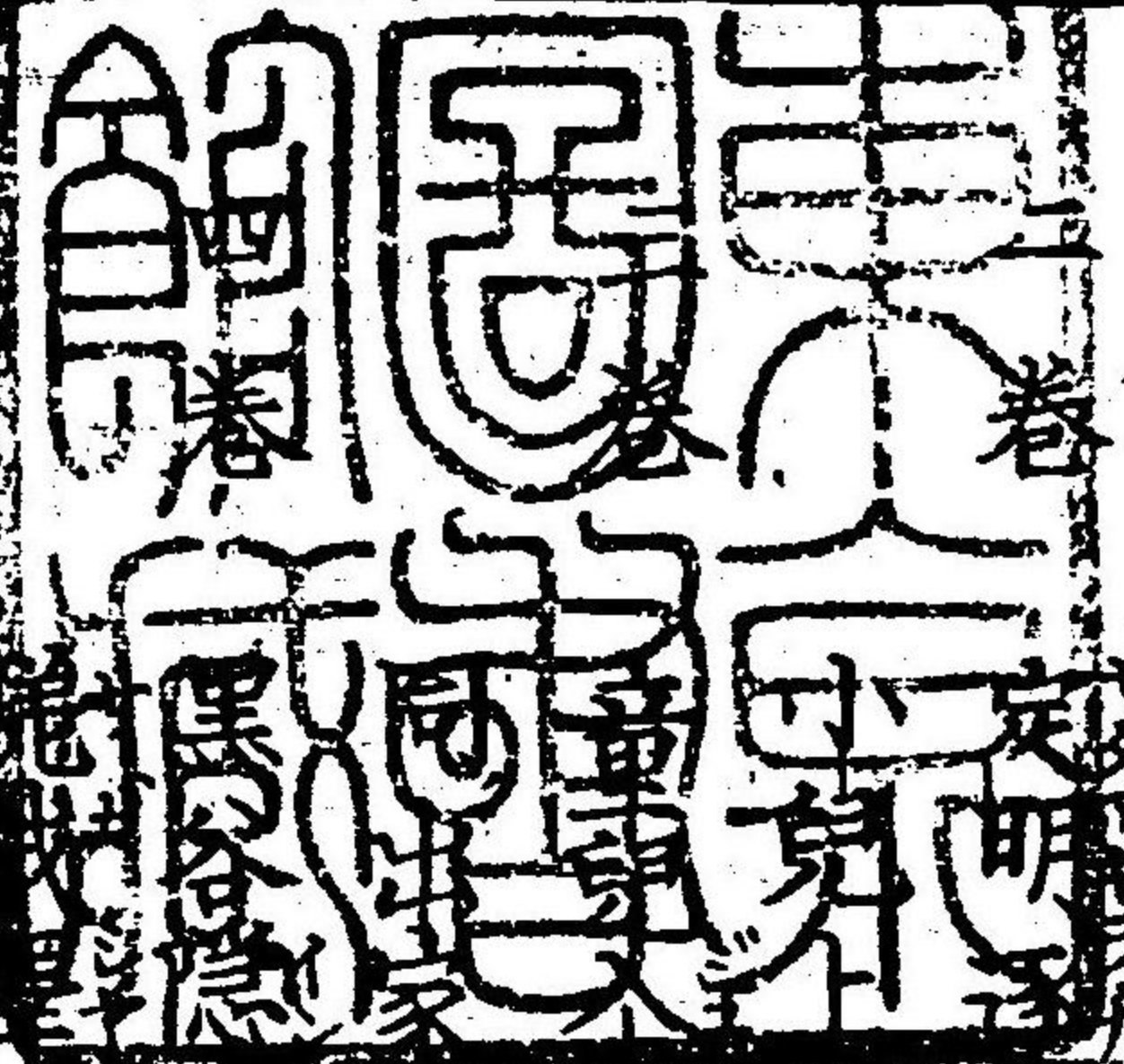
黑谷慈眼房渡事

功德院渡事

御室恭會事

特36
866

W216976/22



黑谷上人傳

卷之二

目錄

弘法大師夢中問答事

圓頓戒談義事

月輪殿上人與山僧法談事

上人與靜嚴法印堅義傳受事

黒谷上人傳繪詞第一卷

第一段

夫以我本師釋迦如來ハアマ子ク流浪三界ノ迷徒ヲ
 スクハンカタメニ。フカク平等ノ子ノ悲願ヲ。オコシマシマスニヨ
 リテ。忽ニ無勝莊嚴ノ化ヲカクシテ。忝モ娑婆濁惡ノ國ニ
 入り給シヨリコノカタ。非生ニ生ヲ現シテ。無憂樹ノ花エミヲ
 フクニ。非滅ヲ唱テ。堅固林ノ風心ヲイタマシム。在世ハ
 十箇年。慈雲ヒトシク羣生ニオホヒ。滅後二千餘廻
 法水ナラ。三國ニナガル。教門シナコトニ。利益コレマキマ
 ナリ。ソノナカニ。聖門ノ下門ハ。穢土ニシテ。自カヲハケマシ
 濁世ニアリテ。得道ヲ期ス。但オソラクハトキ澆季ニ及テ。二

空ノ月クモリヤスク。心塵縁ニハセテ。三惡ノホノホ。マヌカレ
カタシ。煩惱具足ノ凡夫。順次ニ輪廻ノ里ヲ出ヌヘキハ。コレ
浄土ノ下門ノミナリ。コレニツキテ。諸家ノ鮮。蘭菊美ヲ。
ホシキマ、ニストイヘトモ。唐朝ノ善導和尚。弥陀ノ化身ト
シテ。ヒトリ本願ノ深意ヲアラハシ。我朝ノ法然上人。勢至
ノ應現トシテ。モハラ稱名ノ要行ヲヒロメタマフ。和漢國コ
トナレトモ。化導下致ニシテ。男女貴賤。信心ヲ得ヤスク。紫
雲異香。往生ノ瑞スコブルシゲシ。念佛ノ弘通コ、ニ尤モ。サカ
シナリトス。シカルニ上人遷化ノノチ。星霜ヤ、ツモレリ。教
誡ノコトバ。利益ノアト。人ヤウヤクコレヲソランセス。モシシルシ
テ。後代ニト、メスハタレカ。賢ヲミテ。ヒトシカラシコトヲオモ

ヒ。出離ノ要路アルコトヲシラン。コレニヨリテ。ヒロク前聞ヲト
アラヒ。アマ子ク。舊記ヲカンカヘ。マコトヲエラビ。アヤマリヲタシ
テ。粗始終ノ行状ヲ録スルトコロナリ。ヲロカナル人ノサトリ
ヤスク。ミンモノ、信ヲス、メンカタメニ。數軸ノ畫圖ニアラハシテ。
萬代ノ明鑒ニソナフ。往生ヲコヒ子カハントモカラ。タレカコノ
コ、ロサシヲヨミセサラン。抑上人。美作國久米ノ南條稻
岡ノ庄ノ人ナリ。父ハ久米ノ押領使漆ノ時國。母ハ秦氏ナ
リ。子ナキコトヲナケキテ。夫婦心ヲ一ニシテ。佛神ニ祈申
ニ。秦氏夢ニ剃刀ヲノムトミテ。スナハチ懐妊ス。時國カ云。汝
ガハラメルトコロ。サダメテコレ男子ニシテ。下朝ノ戒師タルヘシ
ト。秦氏ソノコロ。柔和ニシテ。身ニ苦痛ナシ。カタク酒肉

五辛ヲタチテ。三寶ニ歸スル心フカ、リケリ

第二段

ツ井ニ崇徳院ノ御宇。長兼二年四月七日午ノ正中ニ泰
氏十ヤムコーナクシテ。男子ヲウム。時ニアタリテ。紫雲ソビ
ク。館ノウチ家ノ西ニ。モトフタマタニシテ。スエシゲクタカキ。掠ノ
木アリ。白幡二流トヒキタリテ。ソノコスエニカレリ。鈴鐸天
ニヒ、キ。文彩日ニカ、ヤク。七日ヲ経テ。天ニホリテサリヌ。
見聞ノ輩。奇異ノオモヒヲ。ナサストイフコトナシ。コレヨリ彼
木ヲ兩幡ノ掠ノ木トナツク。星霜カサナリテ。カタフキタフレ
ムタレト。異香ツ子ニ薫ジ。奇瑞タユルコトナシ。人コレヲアカメ
テ。佛閣ヲタテ。誕生寺ト号シ。影堂ヲツクリテ。念佛ヲ

修セシム。昔應神天皇御誕生ノ時。ハノ幡クタル。正見正語
等ノハ正道ニ住シタマフシルシナリトイヘリ。イマ上人出胎
ノ瑞コトノ儀アヒオナシ。サタメラフカキ心アルヘシ

第三段

八正道者

正見 正思惟 正精進 正念 正業

所生ノ小兒字ヲ勢至ト号ス。竹馬ニ鞭ヲアクルヨハヒヨリ。
ソノ性カシコクシテ。成人ノコトシ。ヤ、モスレハ。西ノ壁ニムカヒ。
井ルクセアリ。天台大師童稚ノ行状ニ。タカハフナント侍ケル

第四段

カノ時國ハ先祖ヲ。タツヌルニ。仁明天皇ノ御後西三条右大
臣光公ノ後亂式部太郎源ノ年。陽明門ニシテ。藏人兼
高ヲ敏ス。其科ニヨリテ。美作國ニ配流セララル。コ、ニ當國

久米ノ押領使。神戸ノ大夫。漆ノ元國カムスメニ嫁シテ。男
 子ヲムマシム。元國男子ナカリケレハ。カノ外孫ヲモチテ
 子トシテ。ソノ跡ヲツカシムルトキ。源ノ姓ヲアラタメテ。漆ノ
 盛行ト号ス。盛行カ子重俊。々々カ子國弘。々々カ子時國
 ナリ。コレニヨリテ。カノ時國聊本姓ニ慢スル心アリテ。當庄
 縮ノ預所。明石ノ源内武者定明。男。伯耆守源長明。在位
 ノ滝口アナツリテ。執務ニシタカハス。面謁セサリケレハ。定
 明。フカク遺恨シテ。保延七年ノ春。時國ヲ夜討ニス。コノ
 子トキニ九歳ナリ。ニケカクレテ。モノ、ヒマヨリ見給ニ。定明
 庭ニアリテ。箭ヲハケテタテリケレハ。小矢ヲモチテコレヲイル。
 定明カ目ノアヒタニタチテケリ。コノ疵カクレナクテ。事アラハレ
 又ヘカリケレハ。時國カ親類ノ。アタヲ報セン事ヲオソレテ。定
 明逐電シテ。ナカク當庄ニイラス。ソレヨリコレヲ。小矢兒トナッ
 ク。見聞ノ諸人。感歎セストイフコトナシ

第五段

時國フカキ疵ヲカウフリテ。死門ニノソムトキ。九歳ノ小兒
 ニムカイテイハク。汝サラニ會誓ノ耻ヲ思ヒ。敵人ヲウズム
 ル事ナカレ。コレ偏ニ先世ノ宿業ナリ。モシ遺恨ヲムスハ。ソ
 ノアタ世々ニツキカタカルヘシ。シカシハヤク。俗ヲノカレ。家ヲ
 出テ。我菩提ヲトフラヒ。ミツカラノ解脱ヲモトメンニハトイヒ
 テ。端坐シテ西ニムカヒ。合掌シテ佛ヲ念シ。子フルカコトクシテ。
 息タエニケリ

第二卷

第一段

定明逐電ノノチ。隱居ノ心シツカニシテ。已造ノ罪ヲクヒ。當
來ノ苦ヲカナシメ。念佛ヲコタラスシテ。往生ノ望ヲトク。其
子孫ミナ。上人ノ餘流ヲウケ。浄土ノ下行ヲム子トセリ。小
兒タ、人ニアラス。豈恐下歎ヲウラムル心アラシヤ。定明
ヲカウフルニヨリテ。跡ヲカクシ。往生ヲトケ。子孫又浄土門
ニ入ル。權化ノ善巧ナルヘシ。迷情アヘテ。アヤシミヲナスコトナ
カレ

第二段

當國ニ菩提寺トイフ山寺アリ。カノ寺ノ院主觀覺得業ト
云ケルハ。モト延曆寺ノ學徒ナリケリ。大業ノ望ヲ達セサル
コトヲウラミテ。南都ニウツリ。法相ヲ學シテ。所存ヲトク。ヒ
サシノ得業トソ申ケル。蘇氏カ弟ナリケレハ。小兒ノ叔ナルウ
ヘ父ノ遺言ノコトアリケレハ。童子彼室ニイリヌ。學文ノ性ナカ
ル。水ヨリモ。スミヤカニシテ。一ヲ聞テ十ヲサトル。キクトコロノコト。
憶持シテ。更ニワスル。コトナシ

第三段

觀覺小兒ノ器量ヲミルニ。イカニモタ、人ニハアラス。オホヘケレ
ハ。イタツラニ邊鄙ノ塵ニ混セン事ヲヲミミテ。ハヤク合嶺ノ
雲ニラクランコトヲソ。支度シケル。シカルヘキ事ニヤアリケン。
小兒ソノオモキヲキ、テ。舊里ニト、マル心ナク。花洛ヲイソ

ク思ノミアリ。觀覺ヨロコヒテ。コノ兒ヲ相具ノ。母ノ所ニ行テ。
コノヨシヲカタル。兒童母儀ヲコシラヘテイハク。ウケカタキ入
身ヲウケ。アヒカタキ佛教ニアフ。眼ノマヘノ無常ヲミテ。夢ノ
中ノ榮耀ヲイトフヘシ。就中ニ亡父ノ遺言耳ノ底ニト、マリテ。
心ノウチニワスレスハヤク四明ニホリテ。スミヤカニ下乘ヲマナ
フヘシ。タシ母世ニイマサン程ハ晨昏ノ禮ヲイタシ。水滸ノ
孝ヲツトムヘシトイヘトモ。有為ヲイトヒ。無為ニイルハ。眞實
ノ報息ナリトイヘリ。一旦ノ離別ヲカナシニ。永日ノ悲歎ヲ
ノコシ給フコトナカレト。再三ナクサメ申。母堂コトハリニオレ
テ。兼諾ノ詞ヲフトイヘトモ。袖ニアマルカナシニ。涙。小兒ノ
クロカミヲウルホス。有為ノナラヒ。シノヒカタク。浮生ノワカレ

マトヒヤスクテ。カクソオモヒツ、ケケル

カタミトテハカナキオヤノトメテシコノ別サ。又イカニセン
サテシモアルヘキナラ子ハ。叡岳西塔ノ北谷持寶房源光カ
モトニツカハス。觀覺カ状ニ云。進上大聖文殊像。體ト。コレ智
惠ノスケタル事ヲ。シメス心ナリケリ

第四段

童子十五歳。近衛院御宇。久安三年ノ春二月十三日ニ。
千重ノ霞ヲワケテ。九禁ノ雲ニイル。ツクリミチニシテ。法性
寺殿忠通公ノ御出ニマイリアヒタテマツル。小兒馬ヨリオリ
テ。道ノ傍ニ侍ニ。御車ヲトメラレテ。イツクノ人ソト。御尋ア
リケレハ。ヲクリノ僧事ノヨシヲ申シアク。御禮儀アリテ。スキ

サセ給。供奉ノ人々。存外ノ思ヲナス。ノチニ仰ラレケルハ。路次ニ
アフ所ノ小童。眼ヨリ光ヲハナツ。イカニモタノモノニ。アラサル
コトヲシリヌ。コレニヨリテ。禮ヲナシキトソ仰ラレケル月輪殿
ノ御帰依アサカラサリケルモ。彼物語ヲ御耳ノ底ニトメラレケ
ルユヘニヤ。アリケント。オホツカナシ

第三卷

第一段

童子入洛ノ後マツ。觀覺得業カ状ヲ持寶房ニ遣ス。源光
觀覺カ状ヲ披覽シテ。文殊ノ像ヲタツヌルニ。夕小兒ノミ
上洛セルヨシ。使者申ケレハ。源光ハヤク。兒童ノ聰明ナル
事ヲシリヌ。スナハチ兒ノムカヘニツカハシケレハ。同十五日ニ登

山ス

第二段

獨木カケハシアヤウク。九花イロメツラシ。持寶房ニイタリ
給ヌ。試ニマツ。四教義ヲサツクルニ。籤ヲサシテ不審ヲナス。
ウタカフトコロミナ。圓宗ノフルキ論義ナリケリ。マコトニ夕、
人ニアラストソ。申アヘリケリ

第三段

コノ兒ノ器量トモカラニスキテ。名譽アリシカハ。源光ワレハコレ
魯鈍ノ淺才ナリ。碩學ニツケテ。圓宗ノ奥義ヲキハメシメム
ト云テ。久安三年四月八日。コノ兒ヲ相具メ。功德院ノ肥後ノ
阿闍梨皇圓ノモトニユキテ。入室セシム。彼皇圓ハ栗田ノ関

白四代ノ後參河權守重兼カ嫡男。少納言資隆朝臣ノ
長兄相生ノ阜覺法橋ノ弟子。當時ノ明匠下山ノ雄才
ナリ。闇梨少生ノ聰敏ナルコトヲキ、テ。驚テイハク。去夜ノ
夢ニ滿月室ニ入ルトシル。イマコノ法器ニアフヘキ前兆ナリケ
リトソ。悦申サレケル

第四段

同年十一月華髮ヲソリ。法衣ヲ著シ。戒壇院ヲシテ。大乘戒
ヲウケ給ヒニケリ

第五段

アル時ステニ出家ノ本意ヲトケ侍リヌ。イマニヲキテハ。跡ヲ林
藪ニカレントオモフヨシ。師範ノ闇梨ニ申サレケレハ。夕トヒ

隱遁ノ志アリトモ。マツ六十卷ヨミテノチソノ本意ヲ遂ヘ
キヨシ。闇梨イサメ給ケレハ。ワレ閑居ヲ子カフ事ハナカク。
名利ノ望ヲヤメテ。シツカニ佛法ヲ修學センタメナリ。コノ仰
マコトニシカナリトテ。生年十六歳ノ春始テ本書ヲヒラク。
三箇年ヲヘテ。三大部ヲワタリ給ヌ

第六段

慧解天然ニシテ。秀逸ノキコエアリ。四教五時ノ廢立鏡ヲ
カケ。三觀下心ノ妙理玉ヲミカク。所立ノ義勢殆ト。師ノヲシヘ
ニコエタリ。闇梨イヨイヨ感歎シテ。學道ヲツトメ大業ヲト
ケテ。圓宗ノ棟梁トナリタマヘト。ヨリヨリコシラヘ申サレケレトモ。
更ニ兼諾ノ詞ナシ。ナヲコレ名利ノ學業ナル事ヲイトヒ。夕チマ

千二師席ヲ辞シテ久安六年九月十日。生年十八歳ニシテ。西塔黒谷ノ慈眼房。叡空ノ廬ニイタリヌ。幼稚ノ昔ヨリ成人ノ今ニ至マテ。父ノ遺言ヲスレカタクシテ。トコシナヘニ隱遁ノ心。フカキヨシヲノヘ給ニ少年ニシテハヤク出離ノ心ヲオコセリ。マコトニコレ法然道理ヒシリナリト隨喜シテ。法然房ト号シ。實名ハ源光ノ上ノ字ト。叡空ノ下ノ字ヲトリテ。源空トツケラレケル。カノ叡空上人ハ大原ノ良忍上人ノ附属。圓頓戒相兼ノ正統ナリ。儉伽秘密ノ法ニアキラカニシテ。下山コレヲユルシ。四海コレヲタウトヒケリ

第四卷

第一段

上人黒谷ニ蟄居ノ後ハ。偏ニ名利ヲステ。一向ニ出要ヲモトムル心切ナリ。コレニヨリテ。イツレノ道ヨリカ。コノタヒタシカニ生死ヲハナルヘキトイフコトヲ。アキラメンタメニ。一切經ヲ披閱スルコト數遍ニヲヨヒ。自他宗ノ章疏。眼ニアテストイフコトナシ。慧解天然ニシテ。ソノ義理ヲ通達ス。アルトキ天台智者ノ本意ヲサトリ。圓頓一實ノ戒体ヲ談ジ給ニ。慈眼房ハ心ヲモテ。戒体トストイヒ。上人ハ性無作ノ假色ヲモテ。戒体トストタテタマフ。立破再三ニヲヨヒ。問答多時ヲウツストキ。慈眼房腹立シテ。木枕ヲモテウタレケレハ。上人師ノ前ヲタタレニケリ。慈眼房思惟スルコト數尅ノ後。上人ノ部屋ニ

來臨シテ。御房ノ申サル、旨ハ。ハヤ天台大師ノ本意。一實
圓戒ノ至極ナリケリトソ申サレケル。佛法ニ私ナキコト。アハ
レニハンヘリカ、リケレハ。上人ヲモテ軌範トシテ。師カヘリテ
弟子トナリ給ニケリ

第二段

保元々々年上人二十四ノ歳。叡空上人ニイトマヲコヒテ。嵯峨ノ
清涼寺ニ七日叅籠ノコトアリキ。求法ノ下事ヲ祈請ノタメ
ナリケリ。コノ寺ノ本尊釋迦善逝ハ西天ノ雲ヲイデ。東夏ノ
霞ヲワケテ。三國ニツタハリタマヘル靈像ナレハ。トリワキ懇志ヲ
ハコヒ給ヒケルモ。コトハリニソオホヘ侍ル

第三段

上人ソノ性俊ニシテ。木卷ノ文ナレトモ。三遍コレヲ見給フニ。
文クラカラス義アキラカナリ。諸教ノ義理ヲアキラメ。八宗ノ
大意ヲウカ、ヒエテ。カノ宗々ノ先達ニアヒテ。ソノ自解ヲノ給ニ
面々ニ印可シ。各々ニ稱美セストイフコトナシ。清涼寺ノ叅籠七
日満シケレハ。ソレヨリ南都ヘクタリ。法相宗ノ碩學藏俊僧
都正僧ノ房ニイタリテ。修行者ノサマニテ。對面シ申サレタリ
ケリ。大床ニオハシケルヲ。僧都イカ、オモハレケン。アカリ障子
ヲアケテ。ウチヘ請シイレタテマツリテ對面シ。法談トキヲ
ウツサレケリ。宗義ニツキテ不審ヲアケラレケルニ僧都
返答ニヲヨハサル事トモアリケリ。上人コ、ロミニ獨學ノ
推義ヲノヘ給ケレハ。僧都感歎シテイハク。貴房ハタ、

人ニアラスオソラクハ大權ノ化身カ。昔ノ論主ニアヒタ
テマツルトモ。コレニハスクヘカラスト。オホユルホトナリ。智慧
深遠ナルコト。言語道断ナリトテ。二字ヲタテマツリ。下期
ノアヒタ。毎年ニ供養ヲノフルコト。ヲコタリナカリケルトナン

第四段

八不中道者 不生亦不生 不来亦不去
不常亦不断 不一亦不異

醍醐ニ三論宗ノ先達アリ。權律師寛雅コレナリ。カシコニユ
キテ。所存ヲノヘ給ニ。律師スヘテモノイハス。ウチニタチイリテ。
文摺十餘合ヲトリイタシテ。予カ法門附屬スルニ人ナシ。キ
ミスレニコノ法門ニ達シ給ヘリ。コトコトク秘書ヲ附屬シタ
テマツルトテコレヲ進ス。稱美讚嘆ノコトハ。カタハライタキ程
ナリ。進士入道阿性房等御供シテ。コノ事ヲ見聞シテ奇

特ノオモヒヲナシケリ

第五段

華嚴十住心

一 異生羶羊心

二 愚童持齋心

三 嬰童無畏心

四 唯蓋無我心

五 拔業曰種心

六 他緣大乘心

七 覺心不生心

八 下道無為心

九 極無自性心

十 秘密莊嚴心

仁和寺ニ華嚴宗ノ名匠アリ。大納言法橋慶雅ト号ス。仁和
寺ノ岡トイフ所ニ居住セルユヘニ岡ノ法橋トソ申ケル。醍醐ニモ
カヨヒケルニヤ。醍醐ノ法橋トモイヘリ。カノ法橋ハ上人ノ弟子
阿性房ノシリウ人ナリケレハ。上人華嚴宗ノ不審ヲタツ
子トハレシタメニ。阿性房ヲアヒ具シテ。ムカヒタマヘルニ法橋マ
ツ左右ナク申イタス様ハ。弘法大師ノ十住心ハ華嚴宗ニ

ヨリテツクリ給ヘリ。コノ旨ヲ御室ニ申トコロニ與アルコトナリ。ハヤク勸申ヘキヨシ。オホセヲカウフルアヒタ。コノホトカンカヘ侍ナリト申トキ。初對面ナレハサテモアルヘケレトモ學問ノナラヒハ黙止シカタク。オモハレケルニヨリテ上人ノ給ケルハナニシニカハ。華嚴宗ニハヨリ侍ルヘキ大日經ノ住心品ノ心ヲモテツクラレタルニテコソ侍レ。第六ノ他緣大乘心ハ法相宗ノ意ナリ。第七ノ覺心不生心ハ三論宗ナリ。第八ノ一道無為心ハ天台宗ナリ。第九ノ極無自性心ハ華嚴宗ナリ。第十ノ秘密莊嚴心ハ真言宗ナリトテハシメ異生羶羊心ヨリヲハリ秘密莊嚴心マテ。ヲノヲノ得ヲ誦シテ。一々ニソノ道理ヲ尺シ述給テ。淺深ヲタテ勝劣ヲ

ヲ判スルコトハ。諸宗ヲノヲノ難ヲクハヘ不受申ナリ。天台宗ニ難申様ナト。クハシク尺シノヘラレ。又華嚴宗ノ自解ノ様ヲ。コマカニ申ノヘ給ニ法橋コレヲキ、テ。阿性房ノ縁ニハンヘルヲヨヒテ。コレハキ、タマフカ。コレカヤウニコ、ロエケンニ。往生シ損シテヤト感嘆シテ。ワレコノ宗ヲ相兼ストイヘトモ。カクノコトク分明ナラス。上人自解ノ法門ヲキクニ。下愚處々ノ不審ヲヒラク。他宗推度ノ智慧。自宗相傳ノ義理ニ。コエタマヘリトテ。隨喜感歎ハナハタシ。カクノコトクシテ。タカヒニ法談數尅ノ後。コノ宗ノ血脉ニイリ侍ハヤト。上人ノタマヘハ。慶雅カウヘニヤト。法橋申サル、間イカ、サルコトハ侍ヘキ。華嚴宗ヲハ。コトサラ傳受シタテマツラント。

存スルナリト申サレケレハ。血脉ナラヒニ華嚴宗ノ書籍シヨウキヤク。少イ々
 ワタシタテマツリヌ。サテカノ法橋サイゴ取後ニハ。上人ヲ召請メシキウシテ。
 戒ヲウケニ字ヲタテマツル。戒ノ布施フセニハ。圓宗エンジュウ文類モンルイトイフ
二十ノ文ヲトリイタシテ。慶雅ハコノホカハモチタルモノハンヘ
餘卷ラス。上人モコトモノヲハ。ナニカハセサセ給ヘキトテ。黒谷クロタニヘソ
 送進ソウジンシケル。上人ノタマヒケルハ。ヨキ學生ニナリヌレハ。カクノコ
 トク。歸スヘキコトニハ歸スルナリ。コノ法橋ハ華嚴宗ニトリ
 テハ。ヨキ名匠ナリ。弁曉ベンケウ法印モ慶雅法橋ノ弟子ナリト
 ソオホセラレケル

第六段

上人諸宗ニ通達ツウダツシタマヘルコト。人口アマ子キウヘ。慶雅法

橋御室ノ御前ニテ。自門他門オホクノ學生ニアヒ侍ツ
 レトモ。コノ上人カヤウ加様ニモノ申僧ソウコソ侍ラ子ト。稱美セウビシ申ケ
 ルヲ。キコシメサレテ。御室ゴシムヨリ上人ヲ召請メシキウセラレ。天台宗ヲ
 學マカヒラルヘキヨシ。オホセラレケレハ。天台宗ハ昔ハカタノコトク。
 傳受デンジュシ侍シカトモ。今ハ但念佛ニナリテ。天台宗ハ廢忘ハイバウシ
 侍ウヘ山門ニハ澄憲テイケン三井ニハ道頭ドウダウナト。申名匠メシキウタチハンヘ
 リ。カノ人々ニシテシトハルヘキカ。ヲノツカラカヘリキ。侍ラン
 モ。ソノハ、カリ侍ヨシヲ。申給シカハ。ミナウケタマハリヲキタ
 ルコトナリ。色題シキダイソノ詮侍センラストテ。カサ子テシキリニ。仰ラレケ
 レトモ。ナヲカタク辭退ジイシ申給ヘハ。サラハ念佛ノコトヲ學セラ
 ルヘシ。ソノツイテニ少イ々談義タンギ侍ヘシナト。オホセラレケレトモ。

自然ニ延引シテ。日月ヲヲクラレケルニ。後白河ノ法皇取
 後ノ御時。上人御善知識ニメサレテ。マイリ給ケルトキ。御室
 モ御参會アリケルニ。ソノコトオホセラレイタシテ。コノアヒタ
 住京ノツイテニ。素懐ヲトケハヤ。イカ、侍ヘキト仰ラレケレ
 ハ。如様ノオリフシ。物忽ニモ侍リ。マタキトメサル、コトモ
 侍ラン時ハ。中間ニモノ申サシ。侍ランコトモアシク侍レハ。シツ
 カニ参上仕ベシトテ。ソノツイテモムナシクヤミニキ。其後イク
 程ナクテ。御室モウセサセ給ニシカハ。ツ井ニソノ節ヲトケラ
 レストイヘトモ懇切ノ御志ヲ。ツクサレシモ。上人諸宗ニ達
 タマヘルユヘナリキ

第五卷

第一段

上人ノタマハク。學問ハハシメテ見タツルハ。キハメテ大事也。師
 ノ説ヲ傳習ハヤスキナリ。シカルニ我ハ諸宗ニミナミツカラ
 章疏ヲ見テ心エタリ。戒律ニモ中ノ川ノ少將ノ上人偷蘭
 双トイフ。名目ハカリツキ。ツタヘタル。サラテハミナ見イタシタ
 ルナリ。法相宗モ藏俊ニアフトイヘトモ。法相ヲ學セス。カノ人ハ、
 カリヲナシテ。ヲシヘス。名目ヒトツソ。キ、トリタル。故慈眼房モ分
 明ナラス。小乘戒ノ事ハ。非學生ナリ。ワツカニ理觀ハカリナリ。普
 通ニヨキ學生トイフモ。大乘ノ戒律ニヲキテハ。予カコトク
 沙汰シタルモノハ。スクナキナリ。當世ニヒロク書ヲ披見シタル
 コトハ。タレモオホエス。書ヲミルニ。コレハソノ事ヲ詮ニハ。イフ

ヨト。ミルコトノアリカタキ事ニテ侍又。ワレハ書ヲトリテ。下見ヲ
クハフルニ。ソノコトヲ尺シタル書ヨナトミル。徳ノ侍ナリ。詮ハ
マツ篇。自ヲミテ本意ヲトルナリト。又ノタマハク。自他宗ノ學
者。宗々所立ノ義ヲ。各別ニ心エスシテ。自宗ノ義ニ違スルヲ
ハミナヒカコト。心エタルハイヒナキコトナリ。宗々ミナ。ヲノ
ヲノタツルトコロノ法門。各別ナルウヘハ。諸宗ノ法門。下同ナル
ヘカラス。ミナ自宗ノ義ニ違スヘキ条ハ。勿論ナリトソ。オホセ
ラレケル

第二段

建仁二年。九月十九日。談義ノトキ。上人語テノタマハク。弘法大
師ノ十住心論ハ。義尺ニヨリテツクリ給ヘルニ。義尺ニ違スルコト

オホシ。カノ義尺ハ善無畏。三藏ノ説ヲ。下行阿闍梨記セラ
レタルナリ。下行ハイトマナキ人ニテ。未再治ニテヤミニシヲ。ノチニ
再治ノ本多シ。其中ニ弘法大師再治本アルナリ。義尺ニハ極無
自性心ニ華嚴般若等ノ不思議ノ境界ヲ接ストコソアルヲ。
弘法大師ノ再治ノ本ニハ。般若ヲハステ。タ、華嚴ヲ接ス
トカ、レタリ。又十住心ニハ華嚴宗ソト尺セラレタリ。十住
心トイフハ。異生羶羊心。愚童持齋心。嬰童無畏心。唯滄
無我心。拔業因種心。他緣木來心。覺心不生心。下道無為
心。極無自性心。秘密莊嚴心ナリ。始ノ異生羶羊心ハ。三
惡道ナリ。コノ中ニ脩羅ヲ接ス。第二ハ人道ナリ。コノナカ
ニモロモロノ儒教ノ仁義禮智信等ヲ接スルナリ。第三ハ

天道ナリ。コレニ老莊ノ教ヲ接ス。第六ハ法相宗。第七ハ三論宗。第八ハ天台宗。第九ハ華嚴宗。第十八真言宗ナリ。ハシメノ一ツヲノゾキテ。餘ノ九種ノ伴心ニハ。外典内典ノ種々ノ諸教。ミナソノナカニ接セリ。シカレハ弘法大師ノ御心。ニヨラハ。内外ノ典籍。ミナコレヲ學スヘキ歟。コレニヨリテ。御室モ多聞廣學ヲコノミ。御沙汰アルカト。オホユルナリ。タ、シコノ十伴心論ノ義ニ大ナル難アリ。義釋ニ谷アルヒハタ、經ヲ接ストイヒ。或ハタ、論ヲ接ストモイヘルヲ。一宗ニトリナシテ。華嚴宗ニ接ス。法華宗ニ接スナト。ヒキナサレタルハ。ヒカコト、オホユルナリ。モシソノ宗ニ接シテ。勝劣ヲ判セハ。タカヒニ是非アリ。ソノ宗論ニヲキテハ。ムカシヨリ

イマタ。コトキレサルモノナリ。法華宗ハ華嚴宗ヨリモアサシトイハハ。ステニ法華宗ノ心ニ違セリ。イカテカヲシテ。天台宗トイフヘキ。華嚴宗ノ心ハカリニテコソハアラメ。宗々タカヒニ淺深ヲアラソフ。ヨソニテタレカ定判セン。オホヨソ一宗ノナラヒ。下代聖教ニヲキテ。淺深ヲ判スル。ツ子ノコトナリ。シカレハ一切經ハオナシク。釋迦一佛ノ所説ナレトモ。宗々ノ所學ニシタカヒテ。淺深勝劣不同ナレハ。イツレノ宗ノ一切經トイフヘシ。天台宗ノ一切經アリ。華嚴宗ノ一切經アリ。乃至法相三論ニモ。ヲノヲノ一切經アルヘシ。天台宗ノ一切經ノナカニハ。法華ヲスクレタリトスルカユヘニ。爾前ノ諸經ニ相對シテ。十勝ヲ立タリ。華嚴宗ノ一切經ニハ。華嚴ヲモチテスクレ

タリトス。三論ニハ諸大乘經頭道無異トハイヘトモ。般若ヲ以テ至極トス。法相ニハ解深密經ヲモテモ眞實トスカクノコトク。ヲノヲ所解不同ナルヲ。ヲサヘテ。宗々ヲ十住心ニアテ。淺深ヲサタメラル、条。ソノイヒナキコトナリ。諸宗ナラヒ。タ、經ハカリヲコソ。淺深ヲモ勝劣ヲモ立タルコトニテアレイハンヤ善無畏ノ義釈ハステニ經ハカリニ紛セリ。又義釈ニハ。華嚴般若種々不思議ノ境界ヲ接ストイヘルヲ。十住心論ニハ。唯華嚴ニカキリアヤマリテ。ソノ宗マテヲ接シテ。般若ヲハ覺心不生心ニ接スルコト。又モチテ違セリ。カクノコトキノ義ヲモチテ。ヒソカニ難勢ヲクハヘタテマツルホトニ。イマハ二十餘年ニモヤナリヌラン。源平ノ乱ヨリサキ嗟

峨ニ住シタリシコロ。夢ニミルヤウ。請用シテ他行シタリケル。ソノアトニ弘法大師ヨリキトマイラセタマヘトテ。御使ノ候ツルトイフヲキ、テ。心ニオモフ様。内々難シ申コトノキコエタルヨナト。オモヘトモ。サアラシニツケテモト存シテ。スナハチ木師ノ所へ参ス。五間ハカリナル家。板敷モナク。タテモナクテ。タ、内ニヨホウニ。ヌリメクラシタル壁。クチモナキノミアリ。木師ハコノウチニオハシマストオホユ。マツ外トニテコハツクロヒヲシタレハ。ソノ壁ノウチヨリコナタヘト。仰セラル、聲アリ。ソノ御聲ニツキテ。入テ壁ノウチヲミレハ。サラニソノ戸ナシ。カヘノクツレタルトコロノミアリ。其、クツレヨリク、リ入レハ。木師壁ノキハニオハシマシテ。スナハチ胸ヲアハセテイタキアラ。木師ノ御顔ハ予カ左ノ

崩ニラキ給。カクテ前々難破スルコトトモヲ。一々ニ會尺セシメ
 タマフ。コレヲキケトモナフ。驚動セス。ソレハト申テ。カサ子テ。ソノ
 義ヲ難シタテマツラントスルト。オホシクテ。夢サメヌ。ノチニコレヲ
 察スルニ。難シ申義ミナ。太師ノ御心ニアヒカナヘルカ。ヒシトイ
 タキアヒタテマツリタルコトハ。御意ニカナヒタルカ。ミユルナルヘシ。
 ケニモヨク難セラレタリト。オホシメセハコソ。夢ニモサマサマニ會
 尺シ給ツラヌ。凡ハ後學ハ畏ヘシト云テ。學生ハカナラスシモ。先達
 ナレハト。イフコトハナキナリ。カノ如來滅後五百年ニ。五百ノ羅
 漢アツマリテ。婆娑論ヲツクリシニ。九百年ニ世親イテ
 俱舍論ヲツクリテ。サキノ義ヲ破シ給キ。義ノ是非
 ヲ論センコトハ。アナカチニ。上古ニモオソルマシキモノソトメ。オホ
 セラレケル

第三段

上人。モト天台ノ真言ヲナラヒ給ヘリ。シカルヲ。中河ノ阿闍
 梨實範。フカク上人ノ法器ヲ感シテ。許可灌頂ヲサツケ。宗
 ノ大事。ノコリナクコレヲツタフ。カノ實範ハ東寺ノ流中院ノ阿
 闍梨教真灌頂ノ弟子。カ子テ勸修寺ノ僧正範俊ヲ師トス。
 タ、事相教相ニ達スルノミナラス。他宗ノ法門マダクラカラ
 サリケリ。シカルニ上人ヲ帰依ノアマリ。後ニハ二字ヲタテマツリ。
 肇真和尚相傳ノ戒ヲウク。上人ハ圓頓ノ戒法ヲ宗トシ給ヘ
 リキ。シカルニ圓戒ヲサシヲキテ。カノ相傳ノ戒ヲウケラレケル。
 サタメテフカキ心侍ケンカシ

第四段

上人智慧第一ノホマレキマタニミチ。多聞タモン廣學クウガクノキコエ世
 ニアマ子シ。オホヨソ我朝ニワタレル。聖教傳記セイキョウデンキ眼ニアテスト
 イフコトナシ。シカレハ本國ノ明師メイシ觀覺ケンカクモ二字ヲタテマツリ。黒
 谷ノ尊師ソンシ叡空エイクウモ軌範キパントシ給キ。タノ教内ノ宗旨シウシニ達スルノミ
 アラス。又教外ノ佛心ヲギロラサグル宗門ハ先達センダツナキユヘニコレ
 フ決ケツセスト。ツ子ニノ給ケルトナン。圓頓エントン戒談ケイタン義ギノトキ。成覺房
 幸西カウサイ尋ジンテイハク。コノ戒ハ諸法ノ至極ヲ以戒体トス。然ニ山王院
 ノ師大師ノ云諸法ノ至極ヲ禪トストノ給ヘリ。モシシカラハ禪
 門トコノ戒體ト合スイナヤト。上人決シ給ハク。コレハ教内ノ理
 法ナリ。カレハ脱心ダツシンノ教外也。ナニヲモテカ合ストセン。得禪トクゼンノ人コノ

戒ヲトカバ。イヨイヨ正理テイリニ叶カフヘシ。禪人教ヲトケハ。教文禪ゼンニシ
 タカフ。教人禪ヲトケハ。禪門教ニシタカフ。凡ツ真言平觀
 フモテ。禪ヲ推スヘキニアラス。イハンヤ法相三論ヲヤ。イカニイハン
 ヤ。自餘ノ小乘ノ宗ヲヤト。サラニコレ教者ノ詞コトバニアラス。マコトニ
 繩イトミシカクシテハ。深泉シンセンニイタリカタク。越ツクヨハクシテハ。太虚タイキョニカ
 ケルコトナシ。智チアサク心ツタナクシテ。宗門シウモンニ達スルコトアラシヤ。
 サレハ禪ノ宗旨シウシヲ論セラレタル上人自筆ノ書イマニアリ。末學
 ウタカフコトナカレ

第五段

或時上人月輪殿ニシテ。山ノ僧ト恭會ノ事侍シニ。彼僧淨ジヨウ
 土宗ドシウヲ立給ナルハ。イツレノ文ニヨリテ。立テ給ソヤト。タツヌルト

キ。善導ノ觀經疏ノ附屬ノ文ナリト答ヘ給ニ重テイハク。宗
 義ヲタツル程ノコトニ。ナンソタ、下文ニヨルヘキヤト。上人微笑シ
 テ。物モノ給ハサリケリ。カノ僧山ニ歸テノチ。實地房ノ法印
 證真ニコノコトヲ語テ。法然房スヘテ返答ニヲヨハスト申ケル
 ヲ。法印申サレケルハ。不足言ニ處スルユヘナリ。カノ上人ハ。天台宗
 ノ達者タルウヘアマサヘ諸宗ニワタリテ。アマ子クコレヲ習學シ
 テ。智慧深遠ナル事。ツ子ノ人ニコエタリ。返答カナハスシテ。モノ
 イハストオモフ。僻見サラニオコスヘカラストノ。申サレケル。カノ法印
 ハツ子ニ上人ニ親近シテ。法門ヲ談セシユヘニ。智慧ノ分際ヲ知
 テ。申サレケルニコソ。コトニ戒ノ法門ハ。上人ニ相承ノ人ナリ。カノ
 法印堅義ノ時ハ。慧光房ノ永弁法印ヲ師トセラレケルニ。

元一品ノ無明ハ妙覺智斷ニ惑ハ。同時斷ノ義ヲ立ヘキヨシ
 サツケ給ケルニ。證真ハ一代聖教ヲ見ニ。三惑ハ異明斷。元
 品ノ能治ハ等覺智也。此旨ヲ立ヘキヨシ申サレケルハ。ソノ
 心ナルヘシト。永弁法印ユルサレケルユヘニ等覺智斷ノ義
 ヲ立ス。澄憲法印題者ニテシラヘ給ケルニ。堅者五千餘卷
 ノ經卷ヲヒラキタルニ。イマタ妙覺智斷ノ文ヲミスト立ス
 ルニ。見聞ノ大衆同音ニ博覽ヲ感スル聲、甚シ。ソノ時
 澄憲法印堅者ステニ智釵ヲフルフ。題者アニワヒ。カヲ又
 カサランヤトトフ。名句ヲ申サレケリ。弱年ノ昔猶カクノ
 コトシ。況ヤ積學ノ後ヲヤ。一切經ヲ披覽スルコト五遍
 ナリ。シカレトモ。慧心院ノ僧都ノ高覽ニ同センコトヲ憚

テ。三遍ノヨシヲ披^ヒ露^{ロウ}セラレケルトカヤ。晝^{チウ}夜^ヤニ地藏^{チジヤウ}菩薩^{ハツサツ}ニ物語^{モノリ}シ。又オホツカナキコトアレハ。中堂^{チュウドウ}ニマイリテ。藥^{ヤク}師^シ佛^{ハツ}ニ尋^ヒタテマツリ。十^{ジュウ}禪^{ゼン}師^シニ詣^キシテ尋^ヒ申^{マウ}ニ。必^{カナラ}ス授^{ウケ}ラレケリ。常^{トコ}ノコトハニハ。我^ガ師^シハトヲクハ。大^{ダイ}聖^{セイ}世^セ尊^{ズン}。千^チカクハ天^{テン}台^{ダイ}妙^{ミョウ}樂^{ラク}トテ。末^{マツ}師^シヲハモチ井^イラレサリケリ。往^{オウ}生^{セイ}傳^{デン}ヲツクリテ。我^ガ身^ミヲカキイレラレケルトカヤ。時^{トキ}ノ人^{ヒト}地^チ藏^{ザウ}ノ化^ケ身^{シン}トッ申^{マウ}ケル。シカルニ彼^カ法^{ポフ}印^{イン}上人^{ウジン}ヲ智^チ慧^ヱ深^{シン}遠^{エン}ノ人^{ヒト}ナリト。申^{マウ}サレケルハ。本^{ホン}地^チノ智^チ慧^ヱトイヒ。非^ヒ迹^{ジツ}ノ廣^{コウ}オトイヒ。タカヒニ知^チタマヘルユヘナルヘシ。餘^{ヨリ}人^{ヒト}ノ稱^{セウ}美^ビヨリモ。氣^キ味^ミアリテソ。オホエ侍^シル

第六段

上人ノ老後ニ。竹林^{シンリン}房^{ボウ}ノ靜^{シヤウ}嚴^{エン}法^{ポフ}印^{イン}ノ弟^{テイ}子^シキタリテ堅^{ケン}義^ギノ才^{サイ}學^{ガク}ニソナヘンタメニ。天^{テン}台^{ダイ}宗^{シュウ}ノ法^{ポフ}門^{モン}ヲタツ子^シ申^{マウ}ケルニクハシク深^{シン}奥^{オウ}ヲサツゲラレニケリ。カノ人^{ヒト}ノ子^シニ申^{マウ}ケルハ老^{ラウ}耄^{マウ}ノウヘ。念^{ネン}佛^{ハツ}ニヒマナクシテ。聖^{セイ}教^{コウ}ヲミサルヨシハ。申^{マウ}サレシカトモ。文^{モン}理^リノアキラカナルコト。當^{トウ}時^ジノ勤^{キン}學^{ガク}ニコエタマヘリ。タ、人^{ヒト}ニアラスト。ソノコロ山^{サン}門^{モン}ニ碩^{セキ}學^{ガク}ハヤシヲナシキ。シカルニ數^{スウ}輩^{ハイ}ノ明^{メイ}匠^{シヤウ}ヲサシヲキテ。隱^{イン}遁^{トン}ノ上人^{ウジン}ニ宗^{シュウ}ノ大^{ダイ}事^ジヲタツ子^シ申^{マウ}ケルソノ達^{タク}シ給^{ケル}ヘルホトモ。アラハレテソオホエ侍^シル。上人^{ウジン}カタリテノタマハク。ワレ聖^{セイ}教^{コウ}ヲ見^ミサル日^ヒナシ。木^キ曾^{ソウ}ノ冠^{クワン}者^{シャ}。花^{クワ}洛^{ラク}ニ乱^{ラン}入^ニトキ。タ、一日^{イツニチ}聖^{セイ}教^{コウ}ヲ見^ミサリキト。後^{コウ}ニハ念^{ネン}佛^{ハツ}ノイトヲ惜^{シヨク}テ。稱^{セウ}名^{メイ}ノ外^{ガイ}ハ。他^タ事^ジナカリケリ。後^{コウ}學^{ガク}ヨロシク。ソノアトヲマナフヘキニヤ

傳繪詞卷一終

黑谷上人傳繪詞第二目錄

六卷

一切經披覽之後淨土宗入給事

上人與慈眼房念佛法談事

上人吉水御房修住事

知息院御廟事

上人淨土義立給事

俊乘房五祖渡唐事

墨鸞

道綽

善導

懷感

小康

七卷

法華三昧普賢來現事

華嚴披講時小蛇出現事

上西門院說戒時小蛇出現事

上人觀念床瑞相現事

夢中善導和尚來現事

上人三昧發得事

勢至菩薩來現事

弥陀三尊虚空現事

八卷

靈山寺二七日別時念佛事

月輪殿於上人頭光現事

念珠瑞光事

鏡御影事

諸人感夢事

後白河院如法經事

高倉院下來圓戒傳受事

同院御終焉知識事

八坂引道寺別持念佛事

九卷

十卷

蓮華王院如法三部經書寫事

後鳥羽院圓戒傳受事

黒谷上人傳繪詞第六卷

第一段

上人聖道諸宗ノ教門ニアキラカナリシカハ法相三論ノ碩
 德。面々ニソノ義解ヲ感シ天台華嚴ノ明直。下々ニカノ宏才
 ヲホムシカレトモ。ナラ出離ノ道ニワヅラヒテ。身心ヤスカラス。順
 次解脱ノ要路ヲシランタメニ。一切經ヲヒラキミタマフコト五
 遍ナリ。下代ノ教迹ニツキテ。ツラツラ。思惟シタマフニ。彼モカタ
 ク。此モカタシ。而ニ慧心ノ往生要集。專ラ善導和尚ノ釈義
 ヲモテ。指南トセリ。コレニツキテ。ヒラキ見給ニ。カノ釈ニハ乱想
 ノ凡夫稱名ノ行ニヨリテ。順次ニ浄土ニ生スヘキム子ヲ判シテ。
 凡夫ノ出離ヲ。タヤスク。スメラレタリ。藏經披覽ノタビニ。コレヲ

ウカ、フトイヘトモ。トリワキ見給フコト三遍。ツ井ニ一心專念弥陀名号行住坐卧不問時節久近念々不捨者是名正定之業。順彼佛願故ノ文ニイタリテ。末世ノ凡夫。弥陀ノ名号ヲ稱セハカノ佛ノ願ニ乘^{シテ}シテ。タシカニ往生ヲ。ウベカリケリトイフ。コトハリヲ。オモヒサタメ給ヌ。コレニヨリテ。兼安五年春生年四十三。タチトコロニ餘^{キヤウ}行ヲステ。下向ニ念佛ニ帰シ玉ヘリ

第二段

アル時上人往生ノ業ニ。稱名ニスキタル行^{ギヤウ}アルヘカラスト申サルヲ。慈眼^{ジヤン}房^{バウ}公觀佛スクレタルヨシヲ。ノ給ケレハ。稱名ハ本願ノ行ナルユヘニ。マサルヘキヨシヲタテ申タマフニ慈眼房又先師^シ良忍^{リヤウジン}上人モ。觀佛スクレタリトコソ。オホセラレシカト。ノ給ケルニ。上人良忍上人モサキニコソムマレ給タレト。申サレケルトキ。慈眼房^{ジヤンバウ}立^{ツク}シタマヒケレハ。善導和尚モ。上來雖說定散兩門之益。望佛本願意在衆生一向專稱弥陀佛名ト。釋^{シヤク}シタマヘリ。稱名スクレタリトイフコト。アキラカナリ。聖^{セイ}教^{ケウ}ヲハ。ヨクヨク。御覽^{ミケン}給ハテトソ申サケル

第三段

上人下向專修^{センシュ}ノ身トナリ給ニシカハツ井ニ。四明^{シヨウメイ}ノ巖洞^{ガンドウ}ヲイテ。西山ノ廣谷^{ヒロタニ}トイフトコロニ。居ヲシメ給^ヒキイクホトナクテ。東山^{トウサン}吉水^{キツスイ}ノホトリニ。シツカナル地アリケルニ。カノ廣谷ノイホリヲ。ワタシテ。ウツリスミ給。タツ子イタルモノアレハ。淨

土ノ法ヲノヘ念佛ノ行ヲス、メラル。化導日ニシタガヒテ。サカリニ念佛ニ歸スルモノ。雲霞ノコトシ。ソノチ賀茂河原屋小松殿勝尾寺。大谷ナト、ソノ居アラタマルトイヘトモ。勸化ヲコタルコトナシ。ツ井ニホマレ丁朝ニミチ、益四海ニアマ子シ。コレ弥陀ノ一教。ワガクニ。縁フカク。念佛ノ勝行。末法ニ相應スルエヘナルヘシ。大谷ハ上人往生ノ地ナリ。カノ跡イマリアリ。東西三丈餘、南北十丈ハカリ。コノウチニ。タテラレケン。坊舎イクホトノカマヘニカアラントミエタリ。ソノ節儉ノホトモ。オモヒヤラレテ。アハレニ。タトクツ侍ル。イマノ御影堂ノ跡コレナリ

第四段

或時上人。オホセラレテイハク。中離ノ志。フカ、リシアヒタ。諸ノ教法ヲ信シテ。諸ノ行業ヲ修ス。オホヨク。佛教オホシトイヘトモ。所謂戒定慧ノ三學ヲハス。キス。所謂小乘ノ戒定慧。大乘ノ戒定慧。頭教ノ戒定慧。密教ノ戒定慧ナリ。シカルニ。ワカコノ身ハ。戒行ニライテ。丁戒ヲモ。タモタス。禪定ニライテ。一モコレヲエス。人師釋シテ。尸羅清淨ナラサレハ。三昧現前セストイヘリ。又凡夫ノ心ハ。物ニシタカヒテ。ウツリヤスシ。タトヘハ猿猴ノ枝ニ。ツタフカコトシ。マコトニ散乱シテ。動シヤスク。丁心シツマリカタシ。無漏ノ正智ナニ、ヨリテカオコラニヤ。モシ無漏ノ智。劔ナクハイカテカ。惡業煩惱ノキツナヲタ、ンヤ。惡業煩惱ノキツナヲ。タ、スハ。ナンソ生死繫縛ノ身

ヲ。解脱スルコトヲエニヤ。カナシキカナ。カナシキカナ。イカ、セン。イカ、セン。コ、ニ我等コトキハ。ステニ。戒定慧ノ三學ノ。ウツハモノニアラス。三學ノホカニ。我心ニ相應スル法門アリヤ。我身ニ堪タル修行ヤアルト。ヨロツノ智者ニモトメ。諸ノ學者ニトフラヒシニ。ヲシフルニ人モナク。シメスニ輩モナシ。然間ナゲキナゲキ。經藏ニイリ。カナシキカナシキ。聖教ニムカヒテ。手ツカラミツカラ。ヒラキミシニ。善導和尚ノ觀經ノ疏ノ下心專念弥陀名号行住坐臥不問時節久近念々不捨者是名正定之業。順彼佛願故トイフ。文ヲ見得テノチ。我等カコトクノ。無智ノ身ハ。偏ニコノ文ヲ。アフキ。專ラコノコトハリヲダノミテ。念々不捨ノ稱名ヲ修シテ。決定往生ノ業因ニ備

ヘシ。タ、善導ノ遺教ヲ。信スルノニアラス。又アツク。弥陀ノ弘誓ニ順セリ。順彼佛願故ノ文ヲカク。魂ニソミ。心ニト、ノタルナリ。慧心ノ先德ノ往生要集ヲ。ヒロクニ。往生之業念佛爲本トイヒ。又カノ人ノ妙イ行業記ノ文ニモ。往生之業念佛爲先トイヘリ。覺起僧都慧心ノ僧都ニ問テノ給ハク。所行ノ念佛ハ。コレ事ヲ行ストヤセン。コレ理ヲ行ストヤセン。慧心ノ僧都コトヘテノ給ハク。コ、口萬境ニサヘキル。コ、ヲモテ。我タ、稱名ヲ行スルナリ。往生ノ業ニハ稱名モトモタレリ。コレニヨリテ。下生中ノ念佛。ソノ數ヲ勘タルニ。二十俱胝遍ナリトノ給ヘリ。然則源空ハ大唐ノ善導和尚ノヲシヘニシタカヒ。本朝ノ慧心ノ先德ノス、メニマカセテ。稱名念佛

ノツトメ。長日六萬遍ナリ。死期ヤウヤク。チカツクニヨリテ。又一萬遍ヲクハヘテ。長日七萬遍ノ行者ナリトツ。オホセラレケル

第五段

上人ノ念佛七萬遍ニナサレテ。ノチハ晝夜ニ餘事ヲマシヘラレサリケリ。サレハソノチ。人ノマイリテ。法門ヲタツ子申ケルニハキ、タマフカト。オホシクテハ。念佛ノコエ。スコシヒキクナリ給フハカリニテソ。アリケル。下向念佛ヲサシヲキ給フコト。ナカリケルトナン

第六段

上人或時カタリテノタマハク。ワレ淨キ宗ヲタツル心ハ。凡夫ノ報土ニムマル、コトヲ。シメサンタメナリ。モシ天台ニヨレハ。凡夫淨土ニムマル、コトヲ。ユルスニ。似タレトモ。淨土ヲ判ズル事アサシ。モシ法相ニヨレハ。淨土ヲ判スル事。フカシトイヘトモ。凡夫ノ往生ヲユルサス。諸宗ノ所談。コトナリトイヘトモ。スベテ凡夫報土ニムマル、事ヲ。ユルサ、ルユヘニ。善導ノ釋義ニヨリテ淨土宗ヲタツルトキ。スナハチ。凡夫報土ニムマル、コト。アラハル、也。コ、ニ人オホク。誹謗シテイハク。カナラス。宗義ヲ立セストモ。念佛往生ヲス、ムヘシ。イマ宗義ヲタツルコトハ。タ、コレ。勝他ノタメナルヘシ。我等凡夫。ムマル、コトヲエハ。應身應土ナリトモ。足又ヘシ。ナンソ。強ニ報身報土ノ義ヲ。タツルヤト。コノ義一往コトハリナルニ。似タレトモ。再往ヲイヘハソノ義

ヲ。シラザルカユヘナリ。モシ別ノ宗ヲ立セスハ。凡夫報土ニ生スル事モカクレ。本願ノ不思議モアラハレカタキナリ。シカレ公善導和尚ノ釈義ニ。マカセテ。カタク報身報土ノ義ヲ立ス。コレマタク。勝他ノタメニアラストフ。オホセラレケル

第七段

上人播磨信寂房ニ。オホセラレケルハ。コノ宣旨ノ二侍ヲ。トリタカヘテ。鎮西ノ宣旨ヲハ。坂東ヘクダシ。坂東ノ宣旨ヲハ。鎮西ヘクダシタランニハ。人モチ井テシヤト。ノ給ニ。信寂房シバラク。案シテ。宣旨ニテモ候ヘトリカヘタランヲハ。イカ、モチ井侍ヘキト申ケレハ。御房公道理ヲシレル人カナ。ヤカテ。サソ帝王ノ宣旨トハ。釈迦ノ遺教ナリ。宣旨ニアリトイフ公正偽

末ノ三時ノ教ナリ。聖道門ノ修行公正偽ノ時ノ教ナルカユヘニ。上根上智ノトモカラニアラサレハ。證シカタシ。各ヘハ。西國ノ宣旨ノコトシ。浄土門ノ修行ハ。末法濁乱ノ時ノ教ヘナルカユヘニ。下根下智ノトモカラフ。番トス。コレ奥州ノ宣旨ノコトシ。シカレハ。三時相應ノ宣旨。コレヲ。トリタカフマシキナリ。大原ニシテ。聖道浄土ノ論談アリシニ。法門ハ牛角ノ論ナリ。シカレトモ。機根クラヘニハ。源空カチタリキ。聖道門ハ。フカシトイヘトモ。時スキヌレハ。イマノ機ニカナハス。浄土門ハ。アサキニ。似タレトモ。當根ニカナヒ。ヤスシト。イヒシトキ。末法萬年餘經悉滅。弥陀一教利物偏増ノ道理ニオレテ。人ミナ。信伏シキトフ。仰セラレケル

第八段

震旦ニ浄土ノ法門ヲノフル人師オホシトイヘトモ。上人唐宋
 二代ノ高僧傳ノ中ヨリ。曇鸞道綽善導懷感少康ノ五
 師ヲ又キイテ。一宗ノ相兼ヲタテ給ヘリ。其後倭來坊重源
 入唐ノトモ。上人仰ラレテイハク。唐土ニ五祖ノ影像アリ。カナラエ
 コレヲワタスヘシト。コレニヨリテ。渡唐ノ後アマ子ク。タツ子モト
 ムルニ。上人ノ仰タカハス。ハタシテ。五祖ヲ一鋪ニ圖スル。影像ヲ得
 タリ。重源イヨイヨ。上人ノ内鑿然ナルコトヲシル。カノ當
 麻寺ノ曼陀羅ハ。弥陀如来化尼トナリテ。大炊天皇ノ
 御宇天平寶字七年ニ。フリアラハシ給ヘル。靈像ナリ。
 序正三方ノ縁ノサカヒ。日觀三障ノ雲ノアリサマ。人サラニ。

ワキマヘカタカリシヲ。ノチニ。文徳天皇ノ御宇天安二年ニ。
 モロコシヨリ。ワタレル。善導大師ノ御釈ノ觀經ノ疏ノ文ヲ見
 テコソ。人不審ヲハ。ヒラキ傳シカ。天平寶字七年ヨリ。天安
 二年ニ。イタルマテハ。九十六年ナリ。ソノカミ。吾朝ニテ。フラレ
 タル。曼荼羅ノ。ハルカノ後ニワタレル觀經ノ疏ノ文ニ符合
 セルヲハ。不思議トコソ。申傳テ侍レ。イマ上人サキダチテ。浄
 土ノ宗義ヲ。ヒラキタマヒ。後ニ重源入唐ノ時。カノ影像ヲ。ワ
 タスヘキヨシヲ。命ゼラレ。ワタストコロノ影像。上人ノ仰ニ。タ
 ガハザルコト。豈ニ奇トニアラスヤ。サレハ道俗貴賤。カノ五祖
 ノ真影ヲ拜シテ。イヨイヨ上人ノ德ニ。歸シマヌス。念佛ノ信
 フ。フカクシケリ。當時ニ尊院ノ經藏ニ。安置スルハ。カノ重

源將來ノ真影也

第七卷

第一段

上人タ、諸宗ノ教門ニ。アキラカナルノミニアラス。修行オホク。ソノ證ヲ得給ヒキ。ソノカミ。四明黒谷ニシテ。法華三昧ヲオコナヒ給ヒシトキ。普賢白象ニノリテ。マノアタリ。道場ニ現ジタマフ。又上人アル時。虚空上人ナラビニ。西仙房トトモニ。ヲコナヒタマヒケルニ。山王影向ニシテ。納受ノカタチヲ。アラハシ給ヒケリ。コレ末代ノ奇特ナリ

第二段

上人黒谷ニシテ。華嚴經ヲ講ジ給ケルニ。アラキ小クチナハ机ノウヘニアリケルヲ。法蓮房信空ニ。トリテスツヘキヨシ。仰セラレケレハ。カノ法蓮房カギリナク。クチナハニヲツル。人ナリケレトモ。師ノ命ソムキガタキニヨリテ。出文机ノ明障子ヲアケマウケテ。チリトリニ。ハキイレテ。ナゲステ。障子ヲタテケリ。サテカヘリテミレハ。クチナハナヲモトノトコロニアリケリ。コレヲミルニ。遍身ニアセイテ。オソロシカリケリ。上人見給テ。ナドトリテハ。ステラレヌソト。仰セラレケレハ。法蓮房シカシカト。コタヘ申サルルニ。上人黙然トシテ。物モノタマハサリケリ。其夜法蓮房ノ夢ニ。大龍カタチヲ現メ。我ハコレ。華嚴經ヲ守護スルトコロノ。龍神ナリ。オソルコトナカレト。イフト思テ。ユメサメニケリ。ムカシコノ。龍宮ニアリテ。人間ニ流布セス。龍樹菩薩

薩龍宮ニユキテ。コレヲヒラキ見テ。人間ニカヘリテ。コレヲヒロ
メ給キ。ソノノチ。覺賢三藏震直ニシテ。安帝義熙十四年三
月十日ヨリ。揚州謝司空寺ニ護淨華嚴法堂ヲタテ。華嚴
經ヲ譯シ給シトキ。堂ノマヘノ蓮華池ヨリ。毎朝ニ青衣ナル
二人ノ童子。アシタニイテ。チリヲハラヒ。スミヲスリ。クルレハ。イ
ケノ底ヘナンカヘリ入ケル。經ヲ譯シヲハリテ。ノチハミエスナリニ
ケリ。コノ經ヒサシク。龍宮ニアリシユヘニ。龍神ウヤマヒテ。守護
ヲクハヘ侍ケルニソ。上人ノ披講。マコトイタリテ。龍神ヲ感セ
シメタマヒケル。ユノシクツ侍ケル

第三段

上西門院フカク。上人ニ歸マシマシテ。念佛ノ御志。アサカラ

サリケリ。或時上人ヲ請シ申サレテ。七箇日ノアヒタ。説戒
アリ。即戒ノ與旨ヲノヘ給ニ。ツノクチナハ。カラカキノ上ニ。キ
日ノアヒタ。ハタラカスシテ。聽聞ノ氣色ナリ。ミル人アヤシミ
オモフホトニ。結願日ニアタリテ。カノクチナハ死セリ。ソノカシ
ラノ中ヨリ。ツノ蝶イテ。ソラニノホルト。ミル人モアリ。天人ノカ
タチニテ。ノホルト。ミル人モアリケリ。昔惠表比丘武當山ニシ
テ无量義經講讀セシニ。コエヲキク青雀歡喜苑ニ生セ
リ。カノ先蹤ヲ思ニ。コノ小蛇モ大乘ノ結縁ニヨリテ。天上ニ
ムレ侍ケルニヤ

第四段

上人秘密ノ窓ニイリ。觀念ノ床ニ坐シ給シニ。アルトキハ。蓮

花アラハヒアルトキハ。羯磨ヲミアルトキハ。寶珠ヲ拜ス。觀心
明了ニシテ。瑞相ヲ。眼前ニアラハシ給コト。オホカリケリ

第五段

上人アル夜夢ミラク。ツノ大山アリ。ソノ峯キハメテタカシ。南北
長遠ニシテ。西方ニムカヘリ。山ノフモトニ。大河アリ。碧水北ヨリ
出テ。波浪南ニナガル。河原眺々トシテ。邊際ナク。林樹茫
々トシテ。限數ヲシラス。山ノ腹ニホリテハルカニ。西方ヲミタ
マハハ。地ヨリカミ。五丈ハカリアカリテ。空中ニ一聚ノ紫雲アリ
テ。コノ雲トヒキタリテ。上人ノトコロニイタル。希有思ヲナシ
給トコロニ。コノ紫雲ノ中ヨリ。無量ノ光ヲイタス。光ノ中ヨリ。
孔雀鸚鵡等ノ。百寶色ノ鳥トヒイテ。ヨモニ散シ。又河

濱ニ遊戯ス。身ヨリ光ヲハナチテ。照耀キハマリナシソノ、
チ。衆鳥トビノボリテ。モトノトク。紫雲ノナカニ。イリヌ。コノ
紫雲マタ。北ニムカヒテ。山河ヲカクセリ。カシコニ。往生人アル
カト。思惟シ給ホトニ。又須臾ニカヘリキタリテ。上人ノマヘニ住
ス。ヤウヤク。ヒロゴリテ。天下ニ覆フ。雲ノ中ヨリ。一人ノ僧出
テ。上人ノ所ニキタリ住ス。ソノサマ腰ヨリ下。金色ニシテ。コシ
ヨリカミハ墨染ナリ。上人合掌仰頭シテ。申タマハク。コレ誰
人ニシマスソヤト。僧答給ハク。我ハコレ善導ナリト。ナニノタ
メニ來給ソヤト。申給ニ。汝專修念佛ヲヒロムルコト。貴カユ
ヘニ。キタレルナリト。ノ給トミテ。夢サメヌ。又畫工來臺ニオセ
テ。ユメニミルトコロヲ。圖セシム世間ニ流布シテ。夢ノ善導ト。

イヘルコレナリ。ソノ面像ノチニ。唐朝ヨリワタレル影像ニ。タ
 カハサリケリ。上人ノ化導和尚ノ尊意ニ。カナヘルコト。アキラ
 ケシ。シカレハ。上人ノ勸進ニヨリテ。稱名念佛ヲ信シ。往生ヲ
 トクルモノ。一州ニミチ。四海ニアマ子シ。前兆ノムナシカラサル。タ
 レノ人カ。信受セサラン

第六段

上人專修正行。トシヲカサ子。一心專念。功ツモリ給シカ。ツ
 井ニ。口稱三昧ヲ發シ給キ。生年六十六。建久九年正月七日
 ノ。別時念佛ノアヒタ。ハシメニ。マツ明相ヲラハレ。次ニ水相影
 現シ。ノチニ瑠璃ノ地スコシキ現前ス。同二月ニ。寶地寶樓ヲ
 見タマフ。ソレヨリノチ。連々ニ。勝相アリ。或時ハ。左ノ眼ヨリ光

ヲ出ス。眼ニ瑠璃アリ。カタチ瑠璃ノツホノコトシ。ツホニアカキ
 花アリ。寶瓶ノコトシ。或時ハ。ハルカニ西方ヲ見ヤリ給ニ。宝樹
 ツラナリテ。高下心ニシタカヒ。或時ハ。座下寶地トナリ。或時ハ。
 佛ノ面像現シ。或時ハ。三尊太身ヲ現シ。或時ハ。勢至來現シ給
 スナハチ。盡土ニ命シテ。コレヲウツシト。メラル。或時ハ。寶鳥琴箏
 等。種々ノコエヲキク。クハシキム子。御自筆ノ三昧發得ノ記ニ
 ミエタリ。カノ記。上人存日ノアヒタハ。披露ナシ。勢觀房遺
 跡ヲ相兼ノチ。コレヲ披見セラヒケリ。高野ノ明遍僧都
 ハカノ記ヲ。ヒラキミニテ。隨喜ノ淚ヲナカサレケルトナン

第八卷

第一段

上人三昧發得ノ。ノチハ。暗夜ニ燈燭ナシトイヘトモ。眼ヨリ光
ヲハナチテ。聖教ヲヒラキ。室ノ内外ヲ見給フ。法蓮房モ。マノア
タリ。コレヲ拜シ。隆寛律師師モ。コトニ此事ヲ。信仰セラレケリ。
アルトキ。袁燭ノ柱ニ。上人ノドカニ。聖教ヲ披覽シ給フ。ヲト
ノシケレハ。正信房イマダ。燈明ナド。タテマツルトモ。覺サリツ
ルニト。オホツカナクテ。ヒソカニ。座下ヲ伺ニ左右ノ御目ノスミ
ヨリ。光ヲハナチテ。文ノ面ヲテラシテ見給。ソノ光ノアキラカ
ナルコト。トモシヒニスキタリ。イミシク。タウトキコト。カギリナシ。
カヤウノ内證ヲハ。フカク隱密スルコトニテ。侍ニト思テ。又
キアシテ。マカリイテヌ。又アルトキ。更タケ夜シツマリテ。
深窓ニ人ナシ。上人ヒトリ念佛シ給。御聲勇猛ナリケレハ。

ヨナヨナ。老骨ヲハケマシ。ヲコタリナキ。御ツトメイタハシク
モ責モ覺テ。モシ御用ヤ。イマスラントニ。正信房マイリテ
ヤリドヲヒキアケテ。見タテマツレハ。身光赫奕トシテ。坐シ
給ヘル。疊ニ帖が上ニミニテリ。明ナルコト。暮山望テ。夕陽ヲ見
カコトシ。身ノ毛モ立許ナリ。タウトシト。イフモヲロカナリ。心ツキ
ナクヤ。オホスラン。サレハトテ。ヤカテマカリイテ。ンコトモ。中々也。
進退ワツラフトコロニ。コトノヤウ。ミエヌトヤ。思給ケン。上人タレ
ソト問給。湛空ト答申サレケレハ。ハヤシテ各ヲモ。カヤウニテシタ
テマツラハヤナトソ。仰ラレケル。慈息ムカシ。玄禁ノ門下ニアリテ。
眼ヨリ光ヲハナチテ。夜聖教ヲヒラキシカハ。泗州太師上座ナ
リシカトモ。ナヲ其德ニ信伏シテ。アフギテ。師範トシ給キ。イ

一邊^シ州^シニシテ。末代タリトイヘトモ、奇特^ニコトニ^ニ上古^ニ恥^シザルヲヤ

第二段

アルトキ上人念佛シテ。オハシケルニ。勢^キ至^シ菩薩^ノ來^リ現^レシ給^フコトアリケリ。ソノタケ、^ニ文^ノ餘^リナリ。畫^シ土^ニ命^シテ。其相ヲウツシト、メラレ。ナガク本尊トアフキ申サレケリ

第三段

上人アカラサテ。草庵^ヲタチイテ。カヘリタマヘリケルニ。弥陀^ノ三尊^ノ繪^ニ像^ニアララス。木像^ニアララス。カキヲハナレ。板^ニ敷^ニモ。天井^ニモ。ツカズシテ。オハシマシケリ。其後ハ拜見^シ給^フコト。ツ子^ノ事ナリケリ

第四段

トコロトコロニ。別時念佛ヲ修シ。不斷ノ稱名ツトムルコト。ナモト。上人ノ在世ヨリオコレリ。ソノナカニ。上人元久二年^年月一日ヨリ。靈山^ノ寺^ニシテ。三七日ノ別時念佛ヲハシメ給ニ。燈^ナクシテ。光明^{アリ}。第五夜ニイタリ。行道スルニ。勢^至菩薩^オナシク。列^ニタチテ。行道^シ給^ケリ。法蓮^房夢^ノトク。コレヲ拜ス。上人ニ。コノヨシヲ申ニ。サル事侍ラント答給。餘人ハサラニ拜セス

第五段

同^年四月五日。上人月輪殿^ニイリ給テ。數^ク剋^テ御法談^{アリ}ケリ。退出ノトキ。禪^閣庭^上ニ。クツレオリサセ給テ。上人ヲ禮

拜シ。御ヒタヒヲ。地ニツケテ。ヤヒサシクアリテ。オキサセ給ヘリ。御^{ナミダ}涙ニムセヒテ。仰ラレテイハク。上人地ヲハナシテ。虚空ニ蓮花ヲフミ。ウシロニ頭光現シテ。出給ツルヲバ。ミズヤト。右^{ウキヤ}京權木夫人道戒^{法名}中納言阿闍梨^{アツリ}尋玄^{ジンゲン}蓮^{レン}房^{ボウ}二人御前ニ候ケル。ミナミタテマツラザルヨシヲ申。池ノ橋ヲワタリ給ケル。ホトニ頭光現シケルニヨリテ。カノ橋ヲ頭光ノ橋トソ申ケル。モトヨリ。御^ゴ歸^キ依^エフカ^リケルニ。コノ後ハイヨイヨ。佛ノコトクニソ。ウヤマヒ。タテマツラレケル。

第六段

アル人名^{不注}上人ノ念珠ヲ給テ。ヨルヒル。名号ヲトナフ。アル時アカラサマニ。タケクギニ。カケタリケルニ。下室照曜スルコトアリケリ。ソノ光ヲタシミルニ。上人恩賜ノ念珠ヨリイテタリ。珠コトニ。歷々タリ。ナラン晴ノ夜ニ星ヲミルカコトシ。奇^キ異^イノ事ナリト云ヘリ。

第七段

上人ノ弟子勝法房ハ繪ヲカク仁ナリケルカ。上人ノ真影ヲ書^{カキ}メテマツリテ。其銘ヲ所望シケルニ。上人コレヲ見給テ。鏡ニ面ヲ左右ノ手ニモチ。水鏡ヲマヘニヲカレテ。頂^{カミ}ノ前後ヲ見合ラレタガフトコロニハ。胡^ゴ粉^コヲ又リテ。ナヲシ。ツケラレテ。ノチコレコソ。似タレトテ。勝法房ニタマハセケリ。銘ノ事ハ返答ニヲヨバレサリケルヲ。勝法房後日ニ又參テ申出タリケレハ。上人ノ御マヘニ侍ケル紙ニ

我本因地

以念佛心

入無生忍

今於此界

攝念佛人

歸於淨土

十二月十一日

源空

勝法御房

トカキテ授ラレケレバ是ヲ彼真影ニ押テ歸敬シケリ。コ
レハ首楞嚴經ノ勢至ノ圓通ノ文ナリ。上人ハ勢至應現
タリトイフコト世舉テコレヲ稱スシカルニオホクノ文中ニ勢
至ノ御詞ヲ自贊ニ用ラレ侍ルマコトニ奇特ノ事ナリ。彼真
影ヲ拜シタテマツルニ胡粉ヲ塗テナホサレタル所多シコ
レホ代ノ龜鏡タルニヨリテ彼自筆ノ本ヲ寫テ此繪ニ加
置トコロナリ。又或人上人ノ真影ヲ寫テ其銘ヲ申ケル

ニモコノ文ヲ書テ賜ケリ。彼正本ツタハリテイマニアリト
ナン申侍ル又讚州生福寺ニスミ給ヒ時ハ勢至菩薩ノ
像ヲ自作シテ法然本地身大勢至菩薩為度衆生故
顯置此道場寺云々置文ニソ載ラレケル委實ハ彼配所ノ
卷ニシルスモノナリ。勢至ノ垂迹タル条ソノ証據カクノコト
シ尤仰信スルニタレリ

第八段

諸人感夢ノ事オホキナカニ或人ハ上人蓮花ノナカニシ
テ念佛シ給トミルアルトキハ天童上人ヲ圍繞シテ管
絃遊戯スルトミル。或ハ又洛中皆鬪諍堅固ナレトモ夕ノ
上人ノ住所ハカリ無為ナリ。コレスナハチ念佛スルニヘナリトミル。

或ハ嗟峨^{サカサカ}釈迦^{シヤカ}如来ツケテ。ノ給ク。當時法然^{フナナリ}房トイフ人ノ
ヒラキタル。往生ノ道。千妙ニシテ。オホクノ人ミナ。ソノミチヨリ。
往生スヘシト。仰ラルトミル。サレハ上人^{ウヂノト}勸化^{クワンカ}ノ手都鄙^{ツドビ}ニ往生
ヲトクル人オホシ。紫雲^{ムラサキクモ}音樂^{ガク}コノニモミエ。カシコニモキコユ。ムナ
シカラサルコトヲシリ又極樂^{ゴクラク}ニ。ノソミヲカケントモカラ。タレカ
上人ノヲシヘヲ。アフカサラン

第九卷

第一段

上人道心^{ウヂノチノミチノココロ}ウチニ薰^カシ。行業^{ケウギョウ}ホカニアラハル。上手^{ウヂノト}公ヨリ。下モ黎^{レイ}
元^{ゲン}ニイタルマテ。ソノ徳^{トク}ニ帰^{カエ}セストイフコトナカリキ。後^{ノチ}白河^{シラカハ}法皇^{フツノミ}
河東^{カチ}押小路^{オシコウヂ}ノ仙洞^{セントウ}ニテ。御知^{ミチ}法^{ホウ}經^{キョウ}ヲ修^{シユ}シマシマスコトアリキ。

上人ヲモテ。御先^{ミチノサキ}達^{タク}トセラル。文治^{モンジ}四年八月十四日^{シツネノヨシノナカノヨシノナカ}前方便^{マヘノオモイ}ヲハ
シメラル。御經^{ミチノキョウ}衆^{シュウ}ハ法皇^{フツノミ}妙音^{ミョウオン}荒入^{アラハレ}道^{ミチ}相國^{サウコク}師^シ長源^{チヤウゲン}空^{クウ}
上人ナラヒニ。門弟^{カドナリ}行賢^{キョウケン}大徳^{ダイトク}山門^{サンモン}ニハ。良宴^{リヤウエン}法印^{フツノシ}。行智^{キョウチ}
律師^{リツシ}。仙雲^{センウン}律師^{リツシ}。覺兼^{カクケン}阿闍梨^{アツカリ}。重圓^{チュウエン}大徳^{ダイトク}。園城^{エンジョウ}寺^ジニハ。道^{ミチ}
頭^{カウ}僧^{ソウ}都^ツ。真賢^{マケン}阿闍梨^{アツカリ}。玄修^{ゲンシュ}阿闍梨^{アツカリ}。圓隆^{エンリウ}阿闍梨^{アツカリ}。圓玄^{エンゲン}
阿闍梨^{アツカリ}。等ナリ。去^{イダ}十日^{シツノヒトカ}日^ヒ吉^{キチ}ノ社^{シャ}ニ。臨幸^{リンキョウ}アリシ時^{トキ}。衆徒^{シュウダ}
執當^{シツトウ}澄雲^{テイウン}法印^{フツノシ}ヲモテ。申入^{ウケ}ケルハ。東寺^{トウジ}ノ僧^{ソウ}今度^{イマタ}ノ御經^{ミチノキョウ}
衆^{シュウ}ニメシ入^{ウケ}ラルヘキヨシ。ソノキコエアリ。慈覺^{ジカク}大師^{ダイシ}始行^{シヤウキョウ}ノ
法則^{フツソク}ナリ。他門^{タカド}ノ僧^{ソウ}シカルヘカラス。又^{マタ}或^{ナラバ}ハ上人^{ウヂノト}メシ入^{ウケ}ラルヘ
キヨシ風聞^{フウケン}。コレハアナカチニ子細^{コトワザ}ヲ申スヘカラスト。云々^{云々}コ
レニヨリテ。東寺^{トウジ}ノ僧^{ソウ}ハ。メサレズ。上人^{ウヂノト}ハ勅喚^{トクワケン}アリテ。御先^{ミチノサキ}

達ヲツトメラル。上人薦次ノ第一タルウヘ先達タリ。一座タルヘキヨシ。オホセラル。上人辞申サルトノヘトモ。勅定シキリナルニヨリテ。第一座ニ著ス。正面ノ東西ニ座ヲシク。東ノ一座上人西ノ一座ニ法皇。上人ノツキニ入道相國著シ給。良宴法印以下。官次ニカセテ列座ス。行基菩薩ハ世俗ノ法ニヨリテ。婆羅門僧正ノシモニ著シ給キ。コノ例ニナゾラハバ。良宴法印上座タルヘシトイヘトモ。別物ニテ。上人一座ニ著セラル。上人禮樂ニホリテ。啓白。其後錫杖ヲ誦シ懺法ヲハシメタマフ。前方便ノ間。毎白三時懺法ナリ。同升日ノ後夜ノ時ヨリ。正懺悔ヲハシメラル。後夜ノ調聲ハ上人。晨朝ノ調聲ハ。法皇御ツトメナリ。堂莊嚴美ヲツクサレ。

作ハフ法ハフ文ハフ又又嚴ガシ重カシナリ。法皇御靈夢ノ事マシマシケリ。子細御願ガシ文ハフ中中納納言言兼兼ニミエタリ

第二段

九月四日御料紙シヲムカヘラル。件ノ料紙ハ觀性法橋ノ進スルトコロナリ。カノ法橋慈鎮和尚シ法印シ同宿ノアヒタ御料紙安置ノ所ハ和尚ノ住房 三條白川ナリ。鳥羽院第七宮覺快親王ノ舊跡キヨニテソアリケル。良宴法印以下。十一人ノ經衆ハ。カノ所ヘムカウ。宿老ハノコリトマル儀ニナソラヘテ。法皇上人相國禪門道場ニマウケサセ給フ。料紙ヲ銅ノ筒ニオサメ。御輿ニ入タテマツリテ。ムカヘタテマツル。南ノヒカクシノシタニ案ヲタテ。御輿ヲカキスヘタテマツル。

良宴法印以下ノ經衆外ニ候シニ。伽陀ヲ誦ス。正面ノ明障
 子ヲアケラレテ。法皇伽陀ヲ誦シマシマス。上人入道相國。オ
 ナジク。助音申サレ料紙ヲ道場ニ安置ノ。チ行道合致
 アリ。コノ儀ハサタメル法式ニアラス。上人コレヲ申ヲコナ
 ハレケリ

第三段

同キ八日寫經ノ水ヲムカヘラル。下鴈ノ僧衆等。横川ニホリ
 テ。慈覺大師ノヲコナヒ。給根本ノ水ヲクミテ。銅ノ瓶
 ニイレテ。持参ス。同十日御筆立ナリ。慈鎮和尚觀性法橋
 ハ。御經衆ニアラストイヘトモ。モトヨリ。如法經中タルニヨリテ
 寫經ノ時忝セラル。和尚ハ入道相國ノシモニ着シ觀性法
 橋ハ仙雲律師ノシモニ坐ス。上人禮樂ニホリテ啓白。下座
 ノ。チ。行道ヲハリテ。伽陀ヲ誦ス。其後十六人着座シテ。同
 時ニ筆ヲトリテ。書寫ヲハシメラル

第四段

同十二日己尅ニ。御書寫コトヲヘシカハ。スナハチ。十種供養ノ
 儀アリ。伶人ノ上達部透渡殿ニ着ス。地下ノ樂人日隱ノ
 西ノ腋ニ坐シテ。沙陀調ノ調子ヲフク。正面ノ庭ニ赤地
 ノ錦ノ地鋪ヲヒキテ。ソノ上ニ机ニ脚ヲタテ。十種供養
 ノ具ヲ安ス。天童二人舞童十六人。東西ヨリス、ミ出テ供
 具ヲトリテ。南ノ階下ニ参シテ傳供成衆僧正面ノ左右
 立テ傳供ス。コノアヒタ十天樂ヲ奏ス。御導師澄憲法印ナリ。

傳供ノトキハ。制禁カタクシテ。參詣ノ道俗。ヤリ水ノ北ニソノス
トイヘトモ。說法ノ時ハ勅許アリテ。聽聞ノ緇素羣ヲナス。弁
舌玉ヲスク。貴賤ミナ涙ヲナカス。說法ノオモムキ。前々ニ起過セ
リ。コトニ感感アルヨシ權木納言兼雅卿ヲモテ。仰下サル導
師下座ノ時。千秋樂ヲ奏ス。入道相國唱哥中ノ御門大納
言宗家卿助音。凡今日ノ儀式萬代ノ美談ナリ。六十ノ御
賀ヲ、コナハレス。自然ニコノ事ニアル。カノヨシ時ノ人申
アハリ

第五段

同十三日御經奉納ノタメニ。首楞嚴院ニ臨幸アリ。長吏圓
良法印ノ沙汰トシテ。水飲ニ御所ヲマウケ。供御ナラヒニ。

御行水ヲ用意ス。法皇鳥居ノ岡ヨリ。御步行。マツ四季講
堂ニ入御ソノ、チ。如法堂ノ中門ノ外ニ。天童以下供具ヲ
サ、ケテ左右ニタツ。樂人法界房ノ北砌ニ候樂ヲ奏ス。
中門ノウチヨリ。御淨履ヲタテマツリテ。如法堂ニ入御。中
門ヨリ。御堂ニイタルマテ。延道ヲシク。西ノ戸ヨリ。御經入々
テマツリテ。正面ノ南ノ庇ニ安ス。御經衆南ノ簀子ニ候ス。行
智律師御經ヲトリ出タテマツル。法皇ウケトラセ。オハシマシテ。
長吏圓良法印ニワタシタマハス。コノアヒタ如陀ヲ誦ス。御導
師圓能法印ナリ。法橋說法ノ、チ。中門ノホカニシテ。御布施
ヲタマフ。次ニ天樂ヲ奏ス。サテ法界房ニ渡御ノ、チ。宗明
樂ヲ奏シ。如陀ヲ誦ス。導師又圓能法印ナリ。啓白下座後。

中堂ニ臨幸アリ

第六段

中堂ヨリ還御食堂ニシテ。御装束ヲアラタメラル。コノアヒタ。衆徒庭上ニ羣參シテ。延年種々ノ藝ヲホトコス。奉行人定長卿ヲモテ。御願無為ノ条。ヒトヘニコレ衆徒祈念ノイタストコロナリ。感ハナハタシキヨシ。澄雲法印ニオホセクタサル。澄雲庭ニオリ石勅定ノオモムキヲ。衆徒ニオホス。ソノチユズベニヲヨビケレバ。スナハチ還御アリ。辰尅ニ。押小路殿ニ著御。本道場ニシテ懺法ヲコナハル。コレヲ歡喜懺法ト号ス。抑慈覺太師ノ門徒餘流山門園城ノ碩徳高僧。ソノ數オホカル中ニ。隱道ノ上人ヲメシイタシテ。御先達トセシケルコト。シカシナカラ。佛徳ノイタリ。御

帰依ノアマリナリ

第十卷

第一段

高倉院御在位ノトキ。兼安五年ノ春。勅請アリシカハ。其上ニ一乘圓戒ヲサツケタテツラ。卿相頂戴シ。宮人稽首ス。清和御門貞觀年中ニ。慈覺太師ヲ紫震ニ請シタテマツラル。天皇々々后トモニ。圓戒ヲウケマシマシキ。上人カノ九代ノ嬪嗣トシテ。法流タ、一器ニツタハリキ。ハルカニイニシヘノアトヲ。オコシタマヒヌルコソ。イミシク侍レ

第二段

後白河法皇勅請アリケレハ。上人法住寺ノ御所ニ叅シタマ

ヒテ。下乘圓戒ヲ。サツケ申サレケリ。山門園城ノ碩徳ヲメサ
 レテ。番々往生要集ヲ講シ。ヲノヲノ所存ノ義ヲノヘサセラ
 レケルニ。上人オホセニシタカヒテ。披講シ給ケルニ。往生極樂ノ
 教行ハ濁世未代ノ目足ナリ。道俗貴賤タレカ帰セサランモ
 ノト。ヨミアケ給ヨリ。ハシメテ。キコシメサル、ヤウニ。御キモニ
 ソミテ。タウトク。御感涙ハナハタシカリケリ。御信仰ノアマリ。
 右京権大夫降信朝臣ニ。オホセテ。上人ノ真影ヲ圖シテ。蓮
 華手院ノ寶藏ニオサメラル。先代ニモ。ソノ例マレナル事トム
 申アヘリケル

第三段

後白河法皇ヒトヘニ。上人ノ勸化ニ。帰シマシマシ。御信仰他ニ

コトナリシカハ。百萬遍ノ御苦行。二百餘箇度マテ。功ヲツミ。
 比類ナキ御事ニテソ。マシマシケル。建久三年正月五日ヨリ。
 御惱アリケルニ。日ニシタカヒテ。ヲモラセ。オハシマシケレハ。御
 善知識ニ。忝セラルヘキヨシ。仰下サル、ニヨリテ。二月廿六日
 ニ。上人参シタマヒテ。御戒ヲ授ケタテマツラレ。御往生ノ儀式ヲ
 サタメ申サル。念佛往生ノ道ハ。日コロキコシメシヲカレケルウ
 ヘカサ子テ申入ラル、ム子。子ニゴロナリシカハ。イヨイヨ御信心
 フカクシテ。御念佛ヲコタラセタマハス。御臨終チカヅカセ
 給ケレハ。同三月十二日戌刻ニ御佛ヲ渡シタテマツラレ。十二
 日寅刻御臨終正念ニシテ。稱名相續シ。御端坐子フルカコト
 クシテ。往生ノ素懐ヲトケサセ給キ。御年六十六ナリ。誠ニ御

宿縁ノイタリ。アハレニソ。オホヘ侍ル

第四段

法皇崩御ノ後、カノ御菩提ノ御タメニ、建久三年秋ノコ。和
 前司親盛入道法名ハ坂ノ引導寺ニシテ。心阿弥陀佛
 調聲シ、住蓮安樂見佛寺ノタクヒ、助音シテ。六時禮讚ヲ修シ。
 七日念佛ス結願ノ時。種々ノ捧物ヲトリイテケルヲ。上人不
 受ノ氣オハシマシテ。念佛ハミツカラノ。タメノツトメナリ。法皇
 ノ御菩提ニ、迴向シタテマツルトモ、布施以外ノ事ナリ。ユメマ
 アルヘカラストソ。イマシメ給ケル。コレ六時禮讚苦行ノハシメ
 ナリ

第五段

後白河ノ法皇ノ十三年ノ御遠忌ニアタリテ、土御門院元
 久元年三月ニ、御佛事ヲ修セラレケルニ、上人蓮華王院ニシ
 テ、浄土ノ三部經ヲ書寫セラレ、能聲ヲエテヒテ、六時禮讚ヲ
 勤行シテ。子ゴロニ、御菩提ヲソ。訪申サレケル。又大和入道
 見佛モ、オナシク。法皇ノ御菩提ヲ、イノリ申サンタメニ、イツレノ
 行法ヲカ。修スヘキト。思惟スルニ。法皇見佛カ夢ニ。我菩提ヲ
 ハ。如法ニ訪ヘキヨシヲ。示サレケリ。則見佛此由ヲ。上人ニ申ケ
 レハ。上人浄土ノ三部經ヲ如法ニ書寫スヘキ次第。法華ノ如
 法經ニナソラヘテ。法則ヲ出サル。所謂カノ記ニ云

浄土三部經如法經次第

一御料紙事。紙曾ヲ殖テ。千日はヲ。ヲコナヘ。其間ハ念佛禮

讚ヲ用ヘシ。若クカクノコトクヲコナヘハ。料紙ナクハ市ノ料紙ヲ用ヘシ。

一 堂莊嚴事 如常

一 前方便七箇日事 沐浴潔齋淨衣等常ノコトシ。但絹綿ノ類ハ用否人ノ意ニアルヘシ。

一 入道場次第 門前ノ灑水并ニ香呂花象香籠等常ノコトシ。次ニ無言行道三友奉請令致寺常ノコトシ。次ニ諸衆寶床ノ前ニ列立シ。惣禮ノ伽陀ヲ誦スヘシ其詞ニ云

歸命本師釋迦佛 十方世界諸如来

願受施主衆生請 不捨慈悲入道場

南无十方三世一切諸佛哀愍納受入此道場

本國弥陀諸聖衆 平等俱來坐道場

道場聖衆實難逢 衆等頂礼弥陀會

南无極樂世界諸尊聖衆慈悲護念證明功德
次弥陀ヲ讚嘆シタテマツルヘシ

弘誓多門四十八 偏標念佛寂為親

人能念佛々還念 專心想佛々知人

南无極樂化主弥陀如来命終決定往生極樂

次ニ經ヲ讚嘆スヘシ

念々思聞淨土教 文々句々誓當勤

憶想長時浪波苦 專心聽法入真門

南无淨土三部甚深妙典命終決定往生極樂

次ニ禮讚時没ノ時ヨリ是ヲ始ヘシ。諸衆着座導師登ル禮盤シ禮讚ノ後。高聲念佛三百反。但時ノ早晚サカシニヨルヘシ。禮讚ノ時刻コトハ日没申時初夜戌時半夜子時後夜寅時辰時シ辰時日中ニ午時ナルヘシ。次ニ佛經ヲ讚嘆スヘシ。伽陀カダ其詞先ノコトシ。但閑白ノ時ハ念佛以後ノ讚嘆ヲ畧スヘシ。又閑白以後ハ惣禮ノ伽陀ヲ畧スヘシ。次ニ例時ノ作法常ノコトシ。但日没下時ヲ用ヘシ。次ニ讀經ハ双卷經ナルヘシ。轉讀テンドクノ多少時ノ早晚ニ隨シ。次出堂後々ノ時コレニナソラヘテ知ヘシ。前方便七箇日間日別カクノコトクナルヘシ。

一寫經七箇日事。沐浴モクヨク齋サイ入道場禮讚念佛讀經等次第。前方便ノコトシ。一事モ違スヘカラス。筆立ノ次第。初日

晨朝ノ禮讚以後。啓白アルヘシ。其畧量ヲ選シラフヘシ。分經并ニ墨筆等以下ノ諸事常ノコトシ。日別ノ書寫禮讚以後多少。時ニヨルヘシ。但七箇日ノ間ニ。其功ハ終ヘキナリ。日別解脫日中ノ禮讚以後ナルヘシ。日々ノ次第。是ニナソラヘテ知ヘシ。七箇日間ノ儀式カクノコトシ。

次ニ奉納ノ次第。常ノコトシ。佛經讚嘆先ノコトシ。但讚嘆ノ多少。時宜ニヨルヘシ。奉納路次ノ間モ。令致常ノコトシ。上人記錄ノ法則ホツリカクノコトシ。追福ツイフクノタメニコレヲ善根ヲ修スル事。コトキヨリ。ハシマレルトナン。申ツタヘ侍ル。サレ其後三部經ヲ如法ニ書寫スル事。世ニオホクキコヘ侍リ。

第六段

後鳥羽院度々勅請アリテ。圓戒ヲ御傳受。上西門院修
明門院オナシク。御受戒アリキ。カリシカハ。三公公卿カ
ウベヲカタフケ。一朝アツキテ。傳戒ノ師トセストイフ事十
カリキ

傳繪詞卷二終

黒谷上人繪詞第三目錄

卷十一

九條院白殿下御忌日御佛事々々
月輪殿上人御息所造作事
選擇集制作事

上人籠居時九條殿召請事

月輪殿御出家事

卷十二

大炊御門左大臣往生事

花山院左大臣往生事

民部卿範光往生事 大宮内府往生事

野宮左大臣往生事

卷十三

聖護院無品親王御往生事

靜嚴法印發心事

清水寺瀧山寺參籠事

古年童子發心事

上人師匠還弟子成給自證事

藤原宗貞道場建立事

卷十四 大原頭真僧都事 同大原問答事

頭真法印一向專修事

卷十五 慈鎮和尚事

日吉聖真子拜殿七箇日念佛事

四天王寺事

妙香院僧正念佛歸事

卷十六 高野明遍僧都事

明遍僧都四天王寺夢中事

上人與明遍對面事

明遍僧都夢中念珠數遍事

明遍往生事

黒谷上人傳繪詞第十一卷

第一段

諸人ノ歸依アサカラサリシ中ニ九條ノ関白殿下兼実公
性寺殿号信仰他ニヨトニ崇重比類ナカリキ、二月十九日法
又月輪殿性寺殿ノ御忌日ニ御佛事アリケルニ傳供ノトキ僧俗座
ヲ分チテ立ナラズベリ、今日ハゴトニ子シゴロナル佛事ナリ上
人モ傳供ニ立給ヘシト、殿下オホセコトアリケレハ松殿
基公マコトニサ候ヘシト申給ス、上人ハ隱遁ノ身タルウヘ
房九僧ニテオハスルニ慈鎮和尚于時受戒ノ師範タルニ
信怒セラレテ、上人ヲ座上ニヒキ申サレケレハ菩提山ノ僧正
信オナシク、上座ヲユツリタテマツリタマス、上人兩僧正ノ

上ニ立テ松殿俗ノ一座ニテオハシマシケルニムカヒテ僧ノ一座ナリケリ、道德ノイタリ、イミシキコトニモ侍ヘル哉

第二段

月輪殿ラツクラレケルニ、例モナキ屋ヲ一字指図ラクタサレテタテサセラレケリ、殿下ノ御所オホク見候ヘトモカ、ル屋イマタ見候ハスト、奉行ノ三位範季卿申サレケレハ、思食オホク様アリトテ、イソカセラレケレハマツツクリタテ、シケリ、何事ノ御断ニカトオモフ程ニ、ハヤ上人ノヤスミトコロナリケリ、老者ニテオハシマセハ、マツコ、ニテヤスメタテマツリテ、ノチニ御對面アラシタメニテソアリケル、御歸依ノアマリコレマテノ御沙汰ニラヨヒケレバ類タガナクアリカタキコトニソ、時ノ人申アヘリケル

第三段

アル時上人月輪殿へ恭レタマヘルニ、殿下御ハダシニテナリムカハセタマヘハ、聖覺シヤク法印三井ノ大納言ノ僧都覺心カクシンオナジクオリムカヒ、恐々セラレケリ、上人僧都ヲアヤシゲニ見タマス、聖覺アレハ、大納言僧都御房候ト申サレケレハ、僧都トリアヘス、覺心トナリ申サレキ、コ、ロハ大納言モ僧都モ世ニオホケレハ、實名ツギミヤウニテソレト知レタテマツラントナリ、殿下加様ニセサセタマヘハ、マシテ、相アイ雲客ウネカクノヲリサハカル、コト、コトハリナリ

第四段

建久八年上人イサ、カナヤミタマフコトアリケリ、殿下フカ

久御ナゲキアリケル程ニイクホトナクテ平愈シタマヒニケ
リ、上人オナシキ、九年正月一日ヨリ、草菴ニトテモリテ別
請ニオモムキタマハサリケレハ、藤右衛門尉重經ヲ御使ト
シテ浄土ノ法門年來教誡ヲ承ルトイヘトモ心腑ニラサメ
カタレ要文ヲシルシ給テ且ハ面談ニナスラヘ且ハ後ノ御力
タミニモソナヘ待ラント、仰セラレケレバ安樂房外記入道ヲ
執筆トシテ選擇集ヲ選セラレケルニ第三ノ章書寫ノ
トキ予モシ筆作ノ器ニタラスハカクノコトクノ會座ニ忝セサ
ラマシト、申ケルヲ聞給テ、キノ僧憍慢ノ心フカクシテ、無道ニ
墮シテトテコレヲシリソケラレニケリ、其後ハ真觀房感西ニ
ノ書セラレケル、此書ヲ選進セラレテ後、同年五月一日上人
ノ夢ノ中ニ、善導和尚來應シテ、汝チ專修念佛ヲ弘通ス
ルユヘニ殊更來レルナリト、シメシタマフ、此書冥慮ニカナヘ
ルコト知ヌヘシ、フカク信受スルニタレリ

第五段

殿下ノ御歸依アサカラスシテ、上人參シタフゴトニ殿下オ
リムカハセタマヘハ、公卿殿上人オリサハカルコトヲ上人ウ
ルサキコトニ思給テ、九條殿ヘマイリタマハサランタメニ、房
籠トテ別請ニオモムキタマハス、イツカタヘモアリキタマハサリ
ケリ、殿下シキリニ御ナゲキアリテ、タトヒ、房籠ナリトモ身
ニ違例ナンドノシヘラントキハ來リ給ナンカト、仰セラレケレハ、
サ様ノ御時ハ子細ニ及ビ、ハンヘラスト申サレケレハ、セメテモ請ジ

申サレシトテハ常ニ御違例トシ号セラレケル此ノ上ハ辭
 シ申スニトコロナクシテ參給ケルヲ見テ門弟正行房心
 中ニ哀レ房籠トテ餘ノ所ヘハマシマサスシテ九條殿ヘノミ
 參給コトシカシナカラ擅越ラヘツラヒ給トコソ人ハソシリ
 申サンスレシカルヘカラヌワザカナト思テ子タル夢ニ汝ハ
 我レ九條殿ヘ恭ルコトヲソシリラモフナト仰セラルニイカ
 テカサルコト候ヘキト申セハ汝ハサ思ナリ九條殿ト我トハ
 先生ニ因縁アリ餘人ニ准スヘカラス宿因カキリアルコト
 ラ知スシテ謗スル心ヲコサハ定テ罪ヲウヘキナリト仰セ
 ラルト見テサメテノチ上人ニヨノ由ヲ語り申シケレハサテ
 サソカシ先生ニ因縁アルコトナリトソノタマヒケル御歸依他
 ニコトナルホトマコトニタハコトニアラスソオホヘハンヘル

第六段

殿下ヒトヘニ念佛門ニ入り給ニシイチハ淨生ノ榮耀ヲカ
 ロクシテ往生淨土ノ御イトナク他事ナカリキツ井ニ建
 仁二年正月二十八日月輪殿ニシテ御素懷法名ヲトケラ
 ル上人ヲ和尚トシテ圓戒ヲ受持シ御歸依マスマスフ
 カリケリ

第十二卷

第一段

大炊御門左大臣公經宗所勞ノトコロニアル人ノ方便ニテ
 上人ヲ知識ニ請シ申サレケリ念佛往生ノコト日比イト

沙汰ニラヨハヌ人ニテ、左右ナク、勸進ノコト、中々アレカル
 へカリケレハ、上人ノハカリコトニテ、屏風ヲヘタテ、アル僧
 ト、ナニトナク法門ヲオホセラレケルニ、天竺晨旦我朝マテ、
 佛法ノ傳ハレル次第ナント、ユ、シク、仰セラレタテ、念仏往
 生ノ未代相應ノ法ナルコト、コマカニ宣説シタマフニ、左府コ
 レラキ、タマヒテ、信仰ノコ、ロオコリ給ニケレハ、スチ、ソノ勸化ニシ
 タカヒ、歸敬他ニコトナリキ、生年七十一、文治五年二月十三日
 出家ヲトケラレケリ、法名金剛覺、寛平法皇ノ御名タル
 由在茂申スアヒタ命終ノ後改云法
 覺所勞次第ニ危急ノ間、同二十七日ヨリ、上人參住シ
 テ、念佛ヲス、メ申サル翌日辰、尅臨終正念ニシテ、往生
 ヲトケ給ニケリ、上人ノコ、ロバセ、マコトニカシコクソ、ハン
 へリケル

第二段

花山院左大臣兼雅ハ、フカク上人ニ歸シタマヒテ、鎮西庄
 園ノ土貢分テ、毎年ニ施入セラレケリ、我ハ院内ヨリホカハ
 車ヲタテタルコトナシ、レカレトモ、法然上人ノ菴室ニ車ヲテ
 タランハ、ナニガ、クルレカルヘキトテ、ツ子ニワタリ給テ、圓
 頓戒ヲウケ、念佛ノ法門ヲ談セラレケリ、生年五十四、正
 治二年七月十四日ニ出家ヲトケ、同十六日ニ、往生ヲトケ
 ラレケルトナン

第三段

右京ノ權大夫隆信ノ朝臣ハ、フカク上人ニ歸シ、餘仏餘

行ヲサシテキテ、タノ彌陀ノ一尊ヲアカメ、ヒトヘニ念佛ノ
 一行ヲツトム、ツキニ上人ニシテカヒテ、建仁元年ニ出家ヲ
 トケ、法名ヲ戒心ト號ス、一向專念ノホカ、他事ナカリケリ、生
 年六十四ノ春、所勞危急ニシヨフ、上人キ、給テ、住蓮安
 樂二人ノ門弟ヲツカハシテ、知識トセラレケリ、ステニオハリニ
 ノソムニ二人ノ僧ヲ、左右ニラキテ、病者ト知識ト同音ニ念仏
 シ來迎ノ讚ヲトナヘ、端坐合掌シテ、往生ヲトク、元久元
 年二月二十二日ナリ、紫雲音樂以下ノ奇瑞一ニアラス、
 後ニ正信房カノ墓所ニ向テ念佛シタマフニ、異香ナラウ
 セス、日本往生傳ニレルシ入レラレケルトナム

第四段

卿ノ二品ノ弟、民部卿範光ハ、後鳥羽院ノ寵臣ナリ、ヒト
 へニ上人ニ歸シテ、称名ノホカ、他事ナカリケリ、生年五十四
 ノ春、承元々々年三月十五日ニ出家ヲトケ、法名ヲ、靜心ト号ス、
 病惱危急ノ由、キコシノサレケレハ、シノヒテ、御壺アリケリ、後生
 ノコト、イカ、思ヒサタヌ、ハンヘルト、御タツ子アリケレハ、今度ノ
 往生決定シテ、サラニウタガフトココ候ハス、ソノユヘハ、去夜ノユ
 メニ、一人ノ高僧キタル、誰人ニマシメスソト問ニ、我ハコレ、源空ナ
 リ、唐土ニシテハ、善導トナツケ、此土ニシテハ、源空トイフ、此界
 ニ來テ、衆生ヲ、ミチヒクコトモステニ、三箇度ナリ、イマ汝ニ命
 終ノ期ヲ、シメサンガタメニ來臨ス、明後日午ノ尅、ソノ期ナル
 ベシト、ノ給ト見テ、夢サメハンヘリヌ、ヌテニ、冥ノ造告ニアツ

カレリ。往生ムナシカルヘカラサル由ヲ存スト申スコレヲ聞
食レテ。フカク御隨喜アリケリ。件ノ日時スコシモ。タカハス正
念ニ安住シ。稱名相續シテ。往生ヲトク。不思議ノコトナリ
ケリ

第五段

大宮ノ内府 實宗ハ歸敬ノ志シ。他ニコトニオハセシカハ。ツ子ニ上人
ニ謁シテ。念佛往生ノミチヲ。アキラメ。ツ井ニ上人ヲ和尚トシテ。
建永元年十一月二十七日。出家ヲトケ。專修ノツトメ。ヲコタ
リ。タマハス。上人ノ入滅ヲカナシミテ。初七日ノ諷誦ヲサ。ゲラ
レキ。生年六十七。建曆二年十二月八日。正念タカハス。念佛相續
シテ。往生ヲトゲラレニケリ

第六段

野ノ宮ノ左大臣公^{公繼}ハ。師弟ノ契^契リ。アサカラサルニ依リテ。
興福寺ノ衆徒。上人ノ念佛與行ヲ。ソ子ニ申シテ。奏聞ニ
及シトキハ。上人ナラヒニ。弟^弟權木納言公^{公繼}ヲ速流セラルヘ
キ由。申状ヲサ。クトイヘトモ。サラニ。ソノコロサシテ。アラタメ
ス。專修ノツトメ。ヲコタルコトナクシテ。生年五十三。嘉祿三年
正月廿三日ニ。職^職ヲ辞シ。同シキ晦日ニ。禱^禱々ノ奇瑞ヲ。アラハシテ。
往生ヲトケ。イニ末代ノ美談トナリタマヘリ。スヘテ月卿雲客
ノ中ニ。化導ニ歸スル人オホク。侍ヘリシカトモ。シゲキニヨリテ
ノセズ

第十三卷

第一段

聖護院ノ無品親王靜惠御違例ノ時。醫療術ヲソクサル
 トイヘトモ。シルシナカリケレハ。門徒ノ上總宰相僧正行舜
 大貳僧正公胤以下ノ人々。信讀ノ大般若經ヲ轉讀シテ。祈
 禱ヲイタサル。コノ人々ハ。ミナ佛家ノ鸞鳳僧中ノ龍象ナリキ。
 シカレトモ。ステニアヤウク。オハシマシケレハ。コノ人々ヲ。サシラ
 カレテ。上人ヲ召請セラレシニ。御使ニ度マテハ。カタク辞退シ
 テ。イリタマハス。第三度ノ御使ニ宰相律師實昌ト云。人來
 臨シテ。理ヲメケテ。一度イリタマヒテ。念佛ノコト申シ。キカセ
 マイラセサセ給ヘトテ。引立ル様ニセシカハ。マコトニ往生シマシ
 マスヘキ人ニテモヤ。マシマストラントテ。ヤカテ律師ノ車ニノリ具シ

テ。マイリタマヒヌ。親王御對面アリテ。イカ、シテ。コノタヒ生死
 フ。ハナレハンヘルヘキ。後生タスケタマヘト。仰ラレケレハ。上人臨終ノ
 行儀ヲ談ジ申サレ。弥陀ノ本願ノオモムキヲ。ノヘタマフニ。親王
 感涙シキリニ。クダリタマヒ。歸敬ノタナコロヲソ。合セラレケ
 ル。上人ハヤカテカヘリ給ニケレハ。次ノ日御往生アリケルニ。寂後
 ニ念佛一萬五千遍申サセ給テ。念佛ト。トモニ御イキトニ。マリ
 給ニケリ。諸人隨喜ノタナコロヲ合セ。上人ノ徳ヲソホメ申シテ
 ル。實昌律師後ニ御往生ノ様ヲ上人ニ語り申サレケレハ。上人
 モヨロコヒ申サレケリ

第二段

延曆寺東塔竹林房ノ靜嚴法印吉水ノ禪房ニイタリテ、

カレリ。往生ムナシカルヘカラサル由ヲ存スト申スコレヲ聞
食レテ。フカク御隨喜アリケリ。件ノ日時スコシモ。タカハス正
念ニ安住シ。稱名相續シテ。往生ヲトク。不思議ノコトナリ
ケリ

第五段

大宮ノ内府實宗ハ歸敬ノ志シ。他ニコトニオハセシカハ。ツ子ニ上人
ニ謁シテ。念佛往生ノミチヲ。アキラメ。ツ井ニ上人ヲ和尚トシテ。
建永元年十一月二十七日。出家ヲトケ。專修ノツトメ。ヲコタ
リ。タマハス。上人ノ入滅ヲカナシミテ。初七日ノ諷誦ヲサ。ゲラ
レキ。生年六十七。建曆二年十二月八日。正念タカハス。念佛相續
シテ。往生ヲトゲラレニケリ

第六段

野ノ宮ノ左大臣公繼ハ。師弟ノ契リ。アサカラサルニ依リテ。
興福寺ノ衆徒。上人ノ念佛與行ヲ。ソ子ニ申シテ。奏聞ニ
及シトキハ。上人ナラヒニ。弟持權木納言公繼ヲ速流セララルヘ
キ由。申狀ヲサ。クトイヘトモ。サラニソノコ。ロサシテ。アラタメ
ス。專修ノツトメ。ヲコタルコトナクシテ。生年五十三。嘉祿三年
正月廿三日ニ。職ヲ辞シ。同レキ晦日ニ。種々ノ奇瑞ヲ。アラハシテ。
往生ヲトケ。イニ末代ノ美談トナリタマヘリ。スヘテ月。卿雲客
ノ中ニ。化導ニ歸スル人オホク。侍ヘリシカトモ。シゲキニヨリテ
ノセズ

第十三卷

第一段

聖護院ノ無品親王静惠御違例ノ時。醫療術ヲツクサル
 トイヘトモ。シルシナカリケレハ。門徒ノ上總宰相僧正行舜
 大貳僧正公胤以下ノ人々。信讀ノ大般若經ヲ轉讀シテ。祈
 禱ヲイタサル。コノ人々ハ。ミチ佛家ノ鸞鳳僧中ノ龍象ナリキ。
 シカレトモ。ステニアヤウク。オハシマシケレハ。コノ人々ヲ。サシヲ
 カレテ。上人ヲ召請セラレシニ。御使ニ度マテハ。カタク辞退シ
 テ。マイリタマハス。第三度ノ御使ニ宰相律師實昌ト云人來
 臨シテ。理ヲマケテ。一度マイリタマヒテ。念佛ノコト申シ。キカセ
 マイラセサセ給ヘトテ。引立ル様ニセシカハ。マコトニ往生シマシ
 マスヘキ人ニテモヤ。マシマスラントテ。ヤカテ律師ノ車ニノリ具シ
 テ。マイリタマヒヌ。親王御對面アリテ。イカ、シテ。コノタヒ生死
 フ。ハナレハンヘルヘキ。後生タスケタマヘト。仰ラレケレハ。上人臨終ノ
 行儀ヲ談ジ申サレ。弥陀ノ本願ノオモムキヲ。ノヘタマフニ。親王
 感涙シキリニクダリタマヒ。歸敬ノタナコ、ロヲソ。合セラレケ
 ル。上人ハヤカテカヘリ給ニケレハ。次ノ日御往生アリケルニ。寂後
 ニ念佛一萬五千遍申サセ給テ。念佛ト。トモニ御イキト、マリ
 給ニケリ。諸人隨喜ノタナコ、ロヲ合セ。上人ノ徳ヲソホメ申シケ
 ル。實昌律師後ニ御往生ノ様ヲ上人ニ語り申サレケレハ。上人
 モヨロコヒ申サレケリ

第二段

延曆寺東塔竹林房ノ静嚴法印吉水ノ禪房ニイタリテ。

イカ、シテ。コノタヒ生死ヲ。ハナレ候ヘキトノ給ケレハ。源空コトヲ
 尋申度ハシヘレト。コタヘ給ケルニ。法印又決擇門ハサルコトニ
 テ。中離ノ道ニラキテハ。智徳イタリ。道心フカクマシメセハ定メ
 テ。兼立ノ義候ラント申サルレハ。源空ハ弥陀ノ本願ニ乘シテ
 極樂ノ往生ヲ期スル外ハ。マタク知コトナシト。法印申サル様。
 所存モカクノコトシ。美言ヲウケタマハリテ。愚暗ヲカタクセン
 ガタメニ。尋申ストココナリ。タシ案念ノキホヒ。オコリ侍ルヲハ。
 イカ、シ候ヘキト。上人ノ給ハク。コレ煩惱ノ所為ナレハ。凡夫ノ力
 及ヘカラス。タノ本願ヲ憑テ名号ヲ唱フレハ。佛ノ願力ニ乘シテ。
 往生ヲウト知レリト。法印信心決定シ。疑念タチチニトケヌ。往
 生サラニ疑ヒナシトテ。退出シ給ケリ

第三段

上人清水寺ニシテ。説戒ノ次テニ。罪惡ノ凡夫ナレトモ。本願
 ラタノミテ。念佛スレハ。往生ウタカヒナキム子。子ムコロニス。メ
 タマヒケレハ。寺家ノ大勸進沙弥印藏フカク本願ヲ信ジヒト
 へニ。念佛ニ歸ス。コレニ依テ文治四年五月十五日。龍山寺ヲ道
 場トシテ。不断常行念佛三昧ヲハジメシニ。能信ト云ヘル僧。香
 炉ヲトリテ開白發願シテ。行道スルニ。願主印藏寺僧等。ナ
 ラヒニ比丘比丘尼。ソノ數ヲ知ラス。結縁シケリ。ソノ行今ニ退轉
 ナシ。阿彌陀堂ノ常行念佛ト号スル是ナリ。抑清水寺ノ靈
 像ハ。極樂淨土ニハ。一生補處ノ薩埵娑婆藏國ニハ。施無畏者
 ノ大士ナリ。仁和寺ノ入道親王ノ御夢想ニ觀音ミヅカラノ

夕ハク。清水寺ノ瀧ハ過去ニモコレアリキ。現在ニモコレアリ。未
来ニモコレアルヘシ。是則太日如来ノ鑲字ノ智水ナリトテ一首
ヲ詠ジタマフ

清水ノ瀧ヘイレハ。ヲソカラ。現世安穩往生極樂トシメシ
給ケレハ。大威儀師俊縁ヲ御使トシテ。寺家ヘ仰セ送ラレケ
ルトカヤ。マコトニ。ソノタノミ。深カルヘキモノナリ。上人ノ勸化ニ
ヨリテ。コノ砌ニシテ。不断念佛ヲ。ハシメケルモ。由有ルコトニヤ。
侍ルラン

第四段

南都興福寺ノ古年童ハ。上人清水寺ニテ説戒ノトキ。念佛
ヲスノメ給フ聞テ。歸敬渴仰ノアマリ。發心出家シテ松苑寺
ノホトリニ。菴リヲ結ンテ。念佛シケルガ。ツ井ニ靈瑞ヲ感ジ。高
声念佛シテ。往生ヲトク。能信ノ法僧。如法經ノカウヅラ。ウ
エナカラ。往生人ニ縁ヲ結バンガタメニ。棺ノサキノ火ノ役ヲツ
トメテ。カヘルニ。異香衣ノウヘニ薫ズ。人々奇特ノ思ヲ成レ。信
心ヲマス者。オホカリケリ

第五段

建仁二年三月十六日。上人語テ夕ハク。慈眼房ハ受戒ノ
師範ナルウヘ。同宿シテ衣食ノ二事一向。コノ聖ノ扶持ナリ
キ。然レトモ。法門ヲ悉ク習タルコトハナシ。法門ノ義ハ。水火
ノコトク。相違シテ。ツ子ニ論談セシナリ。コノ聖ト源空トハ。南
北ニ坊ヲナラベ住シタリシニ。アル時聖リノ居シタマヘル坊ノマ

エラスクルニ。聖リ見タマヒテ。アノ御房カトヨヒ給ヘハ。留リテ
縁ニ居テ候ト申スニ。大乘ノ實智ヲコサテ。浄土ニ往生シ
テンヤト。ノ給ニ。往生シ候ヒナント。答申ストキ。ナニ、サハ。見
エタルツト。ノタマウ間。往生要集ニ。見エテ候ト申ス。往生要集
ノ中ヲモ。見給タルソト。ノ給問。イザタレカ中ヲ見タルヤラン
ト申シタレバ。聖腹立シテ枕ヲモテ。投打ニウチタマヘハ。ヤラ
ニケテ。我カ坊ノカタヘマカリタレハ。ヲチテオワシテ。ハ、キノ
柄ヲモテ。肩ヲウチナントシタマヒキ。又後ニ文ヲモテ。オワシ
テ。コレハイカニ云コトソト。ノ給ヲ心ノ中ニ無益ナリ。事ノ出ク
レバ。イマハ物申サシト誓ヲオコシテ。イザイカ候ラント申タ
レハ。又腹立シテ。ソレヲカ様ナル人ヲ。同宿シタルハ。加様ノ事ヲ

モ。云合セン料ニテコソアレトノ給キ。加様ニシテ。ツ子ニイサ
カヒハ。セシカトモ。寂後ニハ。覺悟房ト云レ聖リニ字ヲカ、セ
テ。カヘリテ。弟子ニ成テ。坊舎聖教ノユツリ文ヲモ。モトハ讓渡
スト。書レタリシヲ。トリ返シテ。進上下書ナホシテ。タヒテ。生々
世々ニ。タカヒニ。師弟ト成レシ料ニ申スソトノ給キ。真言ノ師
範ナリシ。相摸阿闍梨重宴モ。寂後ニハ。受戒ノ弟子ニナリ
テ。戒ヲウケタマヒキ。正シク三部ノ灌頂ヲサツケタマヒシ。形
後ノ迎接房モ。カヘリテ弟子トナリテ。顯宗ノ法門ナラビ
ニ。浄土宗ノ事ヲハ。源空ニ習テ。ツ井ニ往生ヲトケニキ。當時ノ
院主僧都圓長ハ。軍圓阿闍梨ノ真言ノ弟子ナレハ。源空ニ
ハ。同朋ナリシカルニカノ圓長真言ノ教相ヲ軍圓阿闍梨ニ

問ケレハ心ニオボユレドモ。我ハ非學生ニテ。エ云ヒラカヌソト
 ヲ。法然房ニ問テ。イハセテ申サント重宴ノ夕ニヒケレハ。圓長
 モ後ニハ弟子ニ成テ。物習ント云テ。ヤカテ受戒シテ。師弟ノ
 フルニヒニアリキ。寂初ノ師範ナリシ。美作ノ觀覺得業モ。弟
 子ニナリテ。源空ヲ戒師トシテ受戒シ給キ。オホク師範ミナ
 弟子ト成給シ中ニモ。當時ノ碩學共ノ慈眼房ノ受戒ノ
 弟子ナラヌハナキニソノ師ノ慈眼房ノカヘリテ。弟子ニ成
 給タルコトハ。不思議ノ事トコソ。オホユレナント。サマザマカタ
 リ給ヘハ。キク人皆隨喜シ不思議ノ事ナリトソ。申マヒケリ。

第六段

左衛門志藤原宗貞ナラビニ。妻室惟宗ノ氏女。夫婦心ヲ一
 シテ。堂舎建立ノ嚴願ヲナシ。雲居寺ノ北東ノ類ニソノ地
 ヲシメ建仁元年四月十九日ニ上棟シ。同二年春ノ比ノ功ス
 テニ終ニケリ。本尊ハ阿弥陀ノ像脇士ハ。觀音地藏ヲ安置シタ
 テマツル。同年ノ秋ノコロ。上人吉水ノ御房ヨリ。雲居寺ノ勝應弥
 陀院へ百白參詣シ給シ時。願主宗貞門前ニ蹲居シテ。堂舎建
 立ノ旨趣ヲノへ御供養アルヘキ由ヲ望申ケレハ。上人堂内ニ入給
 テ。佛像安置ノ體ヲ御覽セラレ。コノ堂ハ源空供養スヘキ堂ニア
 ラストテ。出ラレニケリ。願主ソノ心ヲ得ズシテ。周章スルトコロニ
 或人申シテ云。上人ハ勢至菩薩ノ無跡ニマレマスト云コト。人
 ロアア子シシカルニ脇士ニ。勢至菩薩ノ無跡ニマレマサルコト。上人ノ
 御心ニ違スルカト。申シケレハ。イッキ勢至菩薩ヲ造立シ。本

ノ地藏ヲハ。異所ニ渡シタテマツリ。ソノ跡ニ勢至菩薩ヲ居タ
テマツリテ後。上人又雲居寺御參詣ノ時。建仁二年八月晦日。
カサ子テ。案内ヲ申ス處ニ。相違ナク供養ヲトケラレニケリ。別
ノ御啓白ナシ。タ、念佛千反ヲ唱ヘタマヒ。ヤカテ不断念佛ヲ
始行セラレ。寺号ヲ引攝寺トツケラル。コノ堂イマニアリ。勢至
菩薩ノ後ロニスヘタテマツル。地藏コレナリ

第十四卷

第一段

天台座主権僧正顯真イマタ大僧都ニテ。オロセシトキ。兼
安三年生年四十三ニシテ。官職ヲ辞シ。菩提ヲ求テ。太原ニ
籠居。春秋四箇年ニ及フトコロニ。安元二年七月八日。建春門

院崩御ノ間。カノ御菩提ノ為ニ。法住寺新法華堂ヲ立ラ
レ。セ々ノ御忌ヲ迎ヘテ。同八月廿五日ニ。行法ヲハシメラレシニソ
ノ先達ニ。叡山法華堂ノ一和上位正覺房真惠ヲ召レシカハ。
勅定ニシタカヒシ時。大原ノ僧都カノ闕ヲノゾミテ。聊宿
願ノ事侍ヘリ。シハラク。入衆アルヘカラサル由。堂中ニフレヲク
リテ。後同九月一日子ノ尅ニ登山シ。則參堂シテ。一衆ニ列シ。
薦次ニマカセテ。三床ノ二和尚ニ着シ。又ノ尅一時ツトメラレテ。
後一床一和尚ニツキタマヒテソノ、チハ。禪光房顯明ヲ代官
トシテ。三大師天台傳ノ御忌日以下大小ノ課役等ミナ新入
ノコトク。勤仕セラル。又四季ノ懺法ノ初夜ノ時ニハ。カナラス。
參堂シタマヒキ。是則出離ノ道。タヤスカラサルコトヲナケキ

テ。名利ノ學道ヲノカレ。菴居ストイヘトモ。決定出離ノ直
路思案イマタ。一決セス。晝夜ニ此事ヲノミナケク處ニ。十二
禪衆ノ闕ヲ聞トキ。カノ半行半座ノ行法ハ。天台大師御筆
ノ法華經ヲ。本尊トシテ。傳教大師弘仁三年七月ニ草創シ
タマヘル。要行ナリ。コレ生死解脱ノ直路ナルヘシト。思ヒヨリ
給テ。十二禪衆ニ列シ給ニケリ。毎日毎時ノツトメニ。懺法
一巻ヲ。クハへ修スルコトハ。カノ僧都ハシメヲカレシカハ。一衆同心
シテ。ソノ行イニヲコタラス

第二段

其後八箇年ノ歲替ヲスキテ壽永二年九月ニ。告ノ御幸
ノ時。座主明雲ノ賞ヲユツリテ。法印ニ叙セラルトイヘトモ。カタ
ク松門ヲトチ。ヒソカニ蓬屋ニ居シテ。コトニシタカハス。タ、
生死ノ出カタクコトヲノミナケク。同キ法流ヲ。クメルヨシニ
ヲモテ。ツ子ニ永弁法印ト出離ノ道ヲ。カタリアハセ給ニ。カクノ
コトキノコトハ。泫然上人ニ御尋。アルヘキ由ヲ。永弁申ケルニ。
ツキテ。相摸房ト云者ヲ。使者トシテ。登山ノ便宜ニ。カナラス。
音信セシメ給へ。申承ルヘキコト。侍ヘル由仰セラレタリケレハ。
上人坂本へ渡リ給テ。カクト申サレケリ。法印オワシメシアヒ
テ。對面シ。コノタヒイカシテ。生死ヲハナレ。侍ヘルヘキトノ給ニ。
上人イカニモ。御計ヒニスクヘカラスト。法印申サレケルハ。先達
ニテシマセハ。定テ思。定メ給ヘル旨アルラン。シメシタマヘトナ
リノ給へハ上人自身ノ為ニハ。イサカ。思。定メタル旨候。タ、

ハヤク。極樂ノ往生ヲトケ候ヘシト。申サレケレハ。法印順次ノ往
 生。トケカタキユヘニ。コノ尋テイタス。イカ、シテコノタヒ。タヤスク
 往生ヲトクヘキヤトノ給フ時。上人答ヘタ。ハク成佛ハカタシトイ
 ヘトモ。往生ハ得ヤスシ。道練善導ノ心ニヨレハ。佛ノ願カヲ強縁ト
 シテ。乱想ノ凡夫浄土ニ往生スト。其後タカヒニ。言説ナクシテ。上人
 カヘリ給テ。後法印ノ給ケルハ。法然房ハ。智惠深遠ナレトモ。聊
 サカ偏執ノ過アリト。上人ヲ事ヲ。カヘリキ、給テ。我カ知サルコト
 ニハ。カナラス疑心ヲ。オコスコトナリトノ給ケルヲ。法印又カヘリ
 キ、給テ。コトニ然ナリ。我々顕密ノ教文ニ。誓古ヲツトムトイ
 ヘトモ。シカモナカラ。名利ノ為ニシテ。浄土ヲ心サ、サルユヘニ。道練
 善導ノ釈義ヲウカ、ハス。法然房ニアラスハ。タレカ。カクノコトク

ノコトハヲ。イタスヘキヤトテ。コノ語ハニハギテ。百日ノ間。大原ニ
 籠居シテ。浄土ノ章疏ヲ。披閱シタマヒテ。テノキ。ステニ。浄土ノ法門
 ヲコソ。見立待タレ。来臨シテ。談ズシメ給ヘト。仰セラレタリケレ
 ハ。文治二年秋比。上人大原へ渡リ給フ。勅大寺ノ大勸進俊
 乘房車源イマタ。出離ノ道。オモヒ定メサリケルヲ。哀レシ給テ。
 コノ由ヲ告仰セラレタリケレハ。弟子三十余人ヲ相具シテ。大原
 ニムカフ。勝林院ノ丈六堂ニ會合ス。上人ノ方ニハ。車源以下ノ弟
 子共。ソノカツアツマレリ。法印ノ方ニハ。門徒以下ノ碩學并ニ大
 原聖達坐シツラナレリ。山門ノ衆徒ヲハシメテ。見聞ノ人オホ
 カリケリ。論談律復スルコト。一日一夜ナリ。上人法相三論華嚴
 法華真言佛心等ノ諸宗ニワタリテ。凡夫ノ初心ヨリ。佛果ノ

極位ニイタルマテ。修行ノ方軌得度ノ相良ツフサニノタマヒテ。是等ノ法。ミナ義理フカク。利益スクレタリ。機法相應セハ得達クヒスヲ。廻ラスヘカラス。タゞシ源空コトキノ。機惠ノタクヒハサラニ。ソノウツハモノニ。アラサルユヘニ。サトリカタク。マトヒヤスシ。シカル間源空発心ノ後。聖道門ノ諸宗ニツキテ。ヒロク出離ノ道ヲトフラフニ。カレモカタク。コレモカタシ。是則世クタリ。入ヲロカニシテ。機教アヒソムクニヘナリ。シカルヲ。善導ノ釈義。三部ノ妙典ノコ。口。弥陀ノ願力ヲ強縁トスルユヘニ。有智無智ヲ論セス。持戒破戒ヲエラハス。無漏無生ノ國ニムマレテ。ナカク不退ヲ。證スルコト。タゞコレ浄土ノ一門。念佛ノ一行ナリトテ。法藏比丘ノ因行ヨリ。弥陀如来ノ果徳ニイタルマテ。理ヲキハメ。詞ヲツクシオハ

リテタ、シコレ涯分ノ自證ヲ。ノフルハカリナリ。マタク。上機ノ解行ヲ。サマタケントニハアラスト。ノタマヒケレハ。法印ヨリハシメテ。満座ノ衆ミナ。信伏シニケリ。カタチヲ見レハ。源空上人マコトニハ。弥陀如来ノ應現カトソ。感談シアヘリケル。法印香炉ヲトリ。高声念佛ヲハシメ。行道シタマフニ。大衆ミナ同音ニ念佛ヲ修スルコト。三日三夜。コエ山谷ニミチ。ヒ。キ林野ヲウコカス信ヲオコシ縁ヲムスフ人。オホカリキ

第三段

法印道心ウチニ催シテ。出離ノ要路ヲ。モトメラレケルニ。上人ノ諷諫ヲ得給テ後ハ。タチトコロニ。命行ヲ指置テ。一向専修ノ行者トナリ。給ニケレハ。自身ノ出離ヒトヘニ。念佛往生ヲ。期

シ給ノミニアラス刺サヘ。又他人ヲス、メラレキ。姨ノ禪尼ヲ、ス、
メンタメニ。念佛勸進ノ消息ヲツカハサル。世間ニ流布シテ。頭
真ノ消息ト号スルコレナリ。ソノ詞ニ云。我々佛ヲ念スレハ。佛我
ヲ照シ給フ。光明我ヲテラセハ。罪障キエスト。イフコトナシ。藥
玉樹ニフル、モノハ。毒ナレトモ。クスリトナル。光ヲカウフランモノ。
タレカ罪障ノコリアラン。カクバカリヤスキ行ヲ。無數劫ノアヒ
タ。思ヨラサリケル。カナシサヨ。時過タル智惠禪定ヲ修行セム
ヨリモ。利益現在ナル。光明名号ヲ称念スヘシ。一行スナハチ。一切
行ナレハ。念佛ノ一行ニ。諸行コトコトクヲサマリ。一念スナハチ。无
量念ナレハ。一称彌陀ナニノ不足カアラン。法界宮ニイラントオ
モハ、極樂ノ東門ヨリ入レ。法身體ヲ證セントオモハ。弥陀ノ

名号ヲトナフヘシ。道綽ハ講説ヲステ。一向ニ念佛ニナリ。
善導ハ難行ヲキラヒテ。專修ヲス。ム。占畝ノ林ニイタリヌレ。
ハ。餘香ヲカ、ス。淨名ノ室ニ入ヌレハ。功德ノ香ヲノミカク。コノ山
ニ入ラン人ハ。タ、念佛ノ香ヲノミカキ。念佛ノ音ヲノミキク。ト
ニナシ候ハ、ヤ。取詮文治二年十二月廿九日。讓摩堂尼御所ト
云々法印專修ノ身トナリ。念佛ヲ行トシ給シコト。コノ消息ニ
明ラカナリ。又十二人ノ衆ヲ定メヲキテ。文治三年正月十五日
ヨリ。勝林院ニ不断念佛ヲ。ハシメヲコナハレシニ。法印ハ十二人
ノ隨一ニテ。成ノ越ヲソツトメ給ケル。開白ノ夜ハ。十二人皆參シ。
行道シテ。同音ノ念佛ヲ修スルニ。毘沙門天主列ニ立給ヘリケ
ルヲ。法印マノアタリ拜シタマヒテ。良忍上人ノ融通念佛ニハ。

鞍馬寺ノ毘沙門天王クミシタマヒ。剩へ諸夫善神ヲスノメ
イレ給ヒケルコトモ。思合セラレ。イヨク信心ヲマシ。貴クオホヘ
ケレハ。念佛守護ノ為ニ。毘沙門天王ヲ當室ノウチニ安置
セラレケリ

第四段

法印一ノ大願ヲ。タテ、云ク。コノ寺ニ五坊ヲタテ。下向称名ヲ
相續シテ。餘行ヲマシヘツトメシト。ソノ願ムナシカラス。井ニ文
治三年十月ニ。ハタサレニケリ。池上ノ阿闍梨。皇慶舊跡。護
法守護ノ靈地ニ。五坊ヲ立。楞嚴院。安樂ノ谷ヲウツレテ。新
安樂ト号シ。性智房。境智房。妙智房。佛智房。勝智房トシ。
ツケラレケル。イマニ退轉セストナン。カノ時。大佛ノ上人。俊乘坊。

又ツノ意樂ヲオコシテ。我國ノ道俗。炎魔王宮ニ。ヒサマツキ
テ。名字ヲ問レントキ。佛名ヲ唱ヘシメンタメニ。阿弥陀佛名ヲ。
ツクヘシトテ。ミツカラ。南无阿弥陀佛トシ。号セラレユ。我朝
ノ阿弥陀佛名ノハシメナリ

第五段

其後三千ノ衆徒ヲシテ。舉シ申スニヨリテ。文治六年三月
七日。天台座主ニ。補セラルトイヘトモ。カタク辞シ申給シテ。勅使
大原ヘムカヒテ。宣命ヲクダシテ。座主職ヲサツケラル。ツ井ニ。
召出サレテ。同五月二十四日。寂勝講ノ證義ツトメ。同二十八日。
推僧正ニ拜任ス。治山ニ箇年ノ間。内論義ニ箇度。寂光大師
ノ御廟ノ番論義傳教大師御廟淨土院ノ番論義ナンド。

取オコナハレ。ワカ山ノ佛法ノタエタルヲツキ。スタレタルヲ。オコサレシカトモ。カタハラニハ。ナホ称名ノ行業。ヲコタラスシテ。法華堂ノ初夜ノ行。法ニハ。高声念佛千遍ヲ。クハへ修セラレキ。ソノ行イマニ退轉ナシ。日比ノ障物ノイタハリ。ニハカニ増氣シテ。浄土院ノ番論義ノ夜。建久三年十月十四日寅。越東塔圓融房ニシテ。正念タカハス。念佛相續シ。往生ノ素懐ヲトク給キ。遺言ノ旨アリケレハ。スナハチ。太原ニラクリタテマツリヌ。近古ノ高僧。山門ノ英傑ナリ。シカシナカラ。上人ノ訓導ニヨリテ。出要ヲオモヒ定メラレキ。心アラン人タレカ。ソノアトヲ。コヒ子ガハサラム。僧正ツ子ニ。ノタマヒケルハ。一向專修ノ身トナリテ。頭密ノ行業ヲ。サシヲキシ。ハシメハ。ヨニ心細カリシナリトソ。申サレケル

第十五卷

第一段

慈鎮和尚。正慈。水僧。ハ法性寺殿總通ノ御息。青蓮院ノ覺快法親王。鵜羽院ノ附弟。山門ノ樞鍵秘教ノ棟梁トシテ。三昧ノ下流秘決ヲツクシ。奥義ヲキハメ。山勢四箇度。與隆昔ニコヘ名望世ニスクレタマヘリ。シカレトモ。宿習ノ開發シ給ケルニヤ。頻リニ世間ノ榮耀ヲイトヒ。フカク出離ノ要道ヲ尋子。隱遁ノ志。アサカラスシテ。ヨリク。篋居ノ暇ヲ申サレケルニ。アエテ勅許ナカリケレハ。ソノ本意ヲトケラレスト云ヘトモ。アル時シハラク。西山ノ善峯寺ニ篋居シテ。心閑カニツトメ。ヲコナハレケルニ。イツシカ勅使ヒマナクシテ。ツ井ニ召出サレ給ニケリ。ソノ後ハ。

隱居ノスレヒモ。叶ハサリケレハ。ツ子ニ上人ニ御對面アリテ。底ノ下ノ凡夫開悟得達ノ要義ヲ。談ゼラレケルニ。上人諸宗ノ大綱ヲアケテ。一ノ義理ヲツクサルニ。皆上代上機ノ為ノオミヘニシテ。未代下根ノタクヒヲヨビカタシ。淨土ノ宗旨稱名ノ本願ノミソ苦海ノ船師。衆河ノ橋梁ニテ。愚鈍下智ノ當機ニアヒカナヘルトテ。聖道淨土ノ衆義ヲノヘラレケレハ。和尚隨喜ノ御心。子ノココロニシテ。下乘圓頓ノ戒ヲウケ。発心稱名ノ行ヲゾ。崇重セラレケル

第二段

本願ノ旨趣ヲトフラヒ。極樂ノ往生ヲノクミマシクケル余ニヤ。建仁元年九月二十二日ヨリ。七箇日ノ間。日吉聖真子ノ拜殿ニテ。實圓實全仁慶良尋已下二十余人ノ門弟ヲトモナヒテ。且ハ本地弥陀ノ内證ニ資シ。且ハ垂跡明神ノ外用ヲカサランカタメニ。慈覺大師古風ヲシタヒ。西方懺法ヲソ。ヲコナハシケル。六時ノ時コトニ。高声念佛千遍マテ。トナヘ給シニ。偏執我慢ノ大衆定メテ。違乱ヲナスコトヤアラント。人思ヒアヘリケルニ。七箇日ノ間。ソコハクノ大衆群集ストイヘトモ。皆帰敬ノ掌ヲ合セテ。誹謗ノクチビルヲ。ウコカサス。信心無二ノ前ニ。魔障便リヲ。得サルニヤト。見聞ノ諸人。不思議ノ思ヲナシアハスト。云コトナカリケリ

第三段

四天王寺ノ別當ニ補任セラレシ時ハ。大僧正行慶寺務ノ

時顛倒シテ後年久シクナリニシ。繪堂ヲ新造シテ。漢家
 本朝ノ往生傳ヲエラヒ。尊智法眼ニ仰セテ。九品往生ノ人ヲ。
 畫圖ニアラハシ。入道相國頼実以下九人ノ秀オヲスメテ。
 和哥ヲ詠シテ。九品面々ノ行狀ヲ稱嘆シ。管宰相干時大
 爲長ノ卿ヲシテ。四韻ノ周詩ヲ賦セシメ。權大納言教家卿
 色紙形ヲソ。清書セラレケル。好謂

上品上生

智覺禪師 新修在

九品蓮臺其窠上
 詞花永馥神棲賦
 直詣西方生死斷
 炎王常拜畫圖像

杭州智覺獨當機
 宿鳥不驚寂定衣
 不經陰府古今稀
 蘊息高僧面見歸

コノノシナカミナキ花ノウテナニモ

コロモノウラニ鳥ヤスムラム

入道大相國 頼実公

上品中生

尼善惠 戒珠集

賢劫如來放大光
 六句有限新泉路
 地上蓮粧生ハ葉
 眼前兼得佛靈告

善哉善惠往西方
 三昧無人舊道場
 俗間花色耻餘香
 九品妙臺第二望

フルサトヒノコル蓮ハアルシニテ

ヤトル一夜ニ花ソヒラクル

前攝政殿下 道家公

上品下生

侍從所監藤原忠季後拾遺 往生傳

我朝々請太夫士

二世清祈一念深

皇朝一ノ作

勤節先彰同雪竹

三年十月黃昏淚

夢裏乘蓮西去速

ミシユメノヤトヲウツニサトリキテ

キノフノ花ニツユソヒラクル

中品上生

大原貧侶臨河畔

尊像未成沙暖處

夜夢縱告出離道

中品上生今所示

夕立ニ水モマサコノカハナニヤ

ハチスノナカノウエノシラツユ

中品中生

天延之比無常理

故苑露消空暗淚

羽林昔有雙棲鳥

極樂界中詩上趣

シノハスヨナニ古里ノ梅カ香モ

カサナル中ノ花ノヤトリニ

中品下生

昔在入間雖放逸

鬢花落飭嚴秋鶴

善根高挺屬雲林

上品下生金刹心

客塵自是不能侵

權大納言 基家

大原沙弥 戒珠集

欲畫弥陀功獨遲

浮生易滅雨來時

老淚不堪憶子悲

至干舊友各相思

前太政大臣 公繼公

少將義孝 保胤往生傳 有夢告

子葉落風槐體家

荒原烟盡只春霞

夢路今攀一詠花

品生所指足相加

右大將 吳氏

沙門智縁 戒珠傳

歸真年積智縁功

羽獵発心禮世雄

晝夜三時三品觀

九蓮第六託生趣

ステヤラテ子思フ鹿ノシルヘヨリ

カリノヤマキイトヒイテニキ

下品上生

當初法敬有遺約

音樂聞天遷化曉

善哉一子出家カ

昔寺維那修善積

立歸ルユメノタチニラシヘラク

ウテナノハナノスエノウハツユ

桑榆暮二期終

迷盡向西結大夢

正三位 家隆

釋法敬 戒珠集

身後不忘靈告專

光明入夢二十三年

遂是雙親得道緣

冥界下品上生蓮

從位民部卿 定家

下品中生

尋鞍馬寺久棲遲

陽茂閣梨徒入夢

九生蓮位上中下

以第八門當此品

ヲシヘル道ハカスカノ里ノ月

サトレハ春ノヒカリナリケリ

下品下生

釋惠進貪無所畜

欲飛鵝眼空勞眼

百部花文今已滿

覺真阿闍梨 續本朝 住生傳

祈請炎王有所思

西方覺榮不生疑

萬部花文讀誦持

來緣定契命終時

入道從三位 保季

釋惠進 新修 往

檀施之物誰應復

不憶集心還有心

八旬榆景遂西沈

善哉下品下生位

從在世間素意深

九ノシナ子カフ蓮スノスエノ糸ヲ

正四位下 範宗

ニタサテカヘルヨルノシラナミ

色紙形記銘曰

貞應三年。甲始自去冬。三春孟夏之間。以繪師法眼尊智。守本樣依傳文圖繪既訖。今於西面更畫作九品往生之人。殊勸進一乘淨土之業。表裏共不交。他筆尊智圖之。以詩歌形其心。詩句九品同令菅大府卿為長卿作之。和歌丞相以下。廣勸九人各詠一首。復當南北裏同畫四天像。此堂大僧正行慶寺務之間。顛倒之後。以聖靈院禮堂東廂為其所。今新建立于舊跡。彰興隆之本意也。

別當前大僧正法印大和尚位慈圓記之

是廣諸人ノ心ヲス、メテ。欣求ノ思ヲ。ハゲマサンタメナリ。コトニ此形狀ヲ見テ。誰ノ人カ。穢惡宛滿ノサカヒヲイトヒ淨土不退ノ砌ヲ。コヒキカハサラシ。自證ノ得脱ノミニアラス。化他ノ御志。フカハリケル。アリカタク貴シモ。持ヘルカナ。日昔ノ社。百日參篋ニ給テ。後生菩提ヲ祈申サレケル。念誦ノヒマニ。百首ノ歌ヲ詠シ給ケル奥ニ

我タノム。セツ社ノユフタスキ。カケテモ六ノ道ニカヘスナ
人ヲ見モ我身ヲミルモコハイカニナムアミタフツチムアミタフツ

トソ書符給ケル。往生ノノソミ。フカクシテ欣求ノ心ヲ。ハケマサレケルニ。称名ノ薰修日淺ク。光陰ノ運轉時ウツリヌトヤ。オホ

シメサレケン。或時詠シ給ケルハ

極樂ニマタ我心ユキツカスヒツシノアユミシハントトレ

浮生ヲ輕クシ。思ヲ淨刹ニカケ給フコト。ヒトヘニ。上人諷諫ノユヘナリケレハ。帰敬他ニコトニシテ。上人遷化ノ時ハ。哀傷ニタヘス。寂初ニ引接ヲ待由中陰ノ作善ニ。諷誦文ヲサケラレ。報息謝德ノ儀。子ニコロナリケリ。サレハ御臨終ノ後。或人ノ夢ニ示サレケルハ。サシモ苦勞セシ。頭密誓古ハ物ノ用ニモ立ス。時々セシ空觀ト称名念佛ハカリツ。後世ノ資糧トハナリタルトク。仰ラレケル

第四段

月輪ノ禪閣ノ御息妙香院ノ僧正良快ハ慈鎮和尚ノ附法トシテ。大師正嫡ノ跡ヲウケ。頭密兼學ノ宗匠ナリキ。シカレ

トモ宿縁ノ内ニモヨホサレケルニヤ。上人ノ變化ニ歸シタマヒ。狀離穢土ノ思ヒフカク。欣求淨土ノ願。子ニコロナリシカハ。偏ヘニ。弥陀ノ本願ヲ信シテ。念佛ヲ行シタマヒ。淺近念佛抄ヲ記シテ。元智ノ輩ヲ勸メラル。彼ノ序ノコトハニハ。夫以之レハ本覺真如ノ月。元明戲論ノ雲ニカクレ。常住佛性ノ蓮ス。生死妄染ノ泥ニウツモレシヨリ。コノカタ。或ハ燒熱大燒熱ノ炎ニ因ヒテ。多ク百千劫塵數ノ諸佛ノ出世ヲモスキ。或ハ紅蓮大紅蓮ノ氷リニトチラレテ。元量億生恒沙ノ如来ノ化導ニモ。モレタリ。或ハ餓鬼城ニ入テ。一萬五千歲飢饉ノウレヘ。忍ヒカタク。或ハ畜生道ニ墮シテ。三十四億類殘害ノ苦シモイタクハクソ。適人中ノ生ヲウクトイヘトモ。餘州ニアリテ。佛法ヲ聞

ズ。トレニ天上ノ報ヲ感ストイヘトモ。快樂ニホコリテ。淨業ヲ修
 スルコトナシ。而ル。イナ南瞻部州佛法流布ノ國ニムマレテ。西
 方淨刹欣求指南ノ教ヲ得タリ。コノタヒ出離ノ直道ニ赴
 スハイツレノ時ニカ。菩提ノ正路ニ向ヘキ。就中一生涯ノサタマ
 リナキ事。夢ノコトニ幻ノコトニ。五盛陰ノ待コトアル且トヤセシ
 暮トヤセシ。シカルニ煩惱内ニモヨホシ。惡縁外ニヒキテ。コノコ
 トハリニ。ヲトロク。輩誠スクナク。ソノ勤ヲイタスタクヒ甚マレ
 ナリ。頓死マタクワカキニヨラス。羸病カナラスシモ。老ヲ待コト
 ナシ。誰カサタメシ。今日。ソノ日ニアラストハ。弊カシラン我身。ソ
 ノ類ニアラストハ。无常ノツゲ忽ニキタリ。有為ノスガタ。ナガク
 カクレヌレハ。善ノタクハヘモナキニヨリテ。三途ノ底ニ墮シヌ。

過去漫々ノ流轉ステニカクノコトシ。未來永々ノ輪廻又然ルベ
 シ。イソキテ出離ノ要術ヲ求ヨ。更ニ生死ノ妄報ニ著スルコ
 トナカレ。爰ニ弥陀ノ念佛ハ諸教所讚多ク在。弥陀大恩教
 主ステニコノ佛ヲ稱讚シタマフ。弥陀一教利物偏増末代ノ
 我等。寂カノ國ヲ欣ヘシ。誠ニ是レ末代相應ノ要法凡夫易行
 ノ直道ナル者歟。コノユヘニ。初心行者ノタメニ。念佛ノ簡要ヲシ
 ルシテ。分テ七段トシテモテ。九品ヲ期ス取註トソカレタル
 第十六卷

第一段

高野ノ僧都明遍ハ。少納言通憲ノ子ナリ。長門ノ法印敏
 覺カ嫡弟トシテ。三論ノ奧旨ヲキハメ。才名世ニユルサレタリシ

興谷上人傳 卷之三 三十五

カドモ。名利ヲイトフ。ココロフカクシテ。本寺ノマシハリヲ。コノマス。
 ツ井ニ三十七ノトシ交衆ヲノカレ。公請ヲ辞シ。光明山ニ居ヲ
 シメテ。諸行ヲステス。萬善ヲイトハス。ヒロク申離ノ要路ヲタツ
 子。アマ子ク。頭密ノ勤行ヲ。イタサレケリ。時ノ人明遍ハ。當時
 無雙ノ碩學ナリ。補任遲々ノユヘニ。菴居スル欽ノ由。ヲノク。
 オシミアヒケレハ。生年四十五ノ時。少僧都。宣下セラレケレトモ。
 カタク辞シテ。勅喚ニシタカハス。隱遁ノオモヒヨク切ニシテ。
 建久六年五十四歳ニテ。ナカク光明山ヲステ。跡ヲ高野山
 ニカクシ。申離ノツトム。マスノ子ニコロナリ。有智ノ道心者。チ
 カクハ。コノ人ナリ

第二段

僧都上人所造ノ選擇集ヲ披覽シテ。コノ書ノオモムキ。イ
 サ、カ。偏執ナルトコロアリケリト。オモヒテ。寢ラレタル夜ノ夢
 ニ。天王寺ノ西門ニ。病者カスモシラス。ナヤミフセルヲ。一人ノ聖
 鉢ニカユライレテ。匙ヲモチテ。病人ノ口コトニ。イル、アリケリ。誰
 人ニカアラントトフニ。カタハラナル人コタヘテ。法然上人ナリトイ
 フト。見テサメヌ。僧都オモハク。ワレ選擇集ヲ偏執ノ文ナリト。
 思ツルヲイマシメラル。ユメナルヘシ。コノ上人ハ機ヲシリ。時ヲシ
 リタル。聖ニテオハシケリ。病人ノ様ハ。ハシメニ。柑子。橘。梨。子。柿
 ナトノ。タタヒヲ食スレトモ。ノチニハ。ソレモト。マリヌレハ。ワツカニオ
 モユヲ。モチテ。ノドヲウルホス。ハカリニ。命ヲサヘタリ。コノ書ニ。一
 向ニ念佛ヲ。ス、メラレタル。コレニタカハス。五濁濫漫ノ世ニハ。佛法

ノ利益次第ニ滅ス。コノコロハ。アマリニ代クタリテ。我等カア
 リサテ。タトヘハ。重病ノモノ、コトニ^{サンモンホツサク}三論法相ノ柑子橘モクハ
 レス。真言止觀ノ梨子柿モクハ。レ子ハ念佛三昧ノ。オモユニテ。生
 死ヲイツヘキナリケリトテ。忽ニ顯密ノ諸行ヲサシラキテ。專
 修念佛ノ門ニイリ。ソノ名ヲ空阿弥陀佛トソ。号セラレケル。
 トリウキ。天王寺ト。ミラレケルモ。由緒ナキニアラス。コノ寺ハ極
 樂補處ノ觀音太士聖德太子トムレテ。佛法ヲコノ國
 ニヒロメ給シ。宸初ノ伽藍ナリ。欽明天皇ノ御タメニ。七日ノ念
 佛ヲツメタマヒ。命長七年二月十二日黒木ノ臣ヲ。御使ト
 シテ。善光寺ノ如来へ。御書ヲ進セラル。ソノ御コトハニハ。名号
 七日稱揚已以斯為報廣大恩仰願本師弥陀尊助我濟度
 常護念ト侍ケルニ。如来ノ御返報ニハ。一念稱揚無息留何
 況七日大功德我待衆生心无間汝能濟度豈不護トソ。
 アソハサレケル御表書ニハ。上宮救世大聖ノ御返事ト侍
 ケリ。コノ御消息ニコソ。コノ國ハ念佛三昧ノ有縁ナル事モ
 アラハラレニケレ。カノ鳥居ノ額ニモ。釈迦如来轉法輪所
 當極樂土東門中心トソ。カレテ。侍ルワカ國ニ生ヲウケン
 人ハ。尤コノ念佛門ニ。帰スヘキモノナリ

第三段

上人天王寺ニ。オハシケルトキ。僧都善光寺參詣ノ事ア
 リケルカ。タツ子參セラレテ。マツ使ニテ案内シ給フニ。上人
 客殿ニ出マウケテ。コレヘト仰ラル。僧都サシイリテ。イマタ居

ナホラヌホトニ。ゴノタヒイカ、シテ。生死ヲハナレ候ヘキト申サレケレハ。南无阿弥陀佛ト唱テ。往生ヲトクルニハシカストコソ。存シ候ヘト。申サレケレハ。僧都申サル、ヤウ。タレモサハ見ヲヨヒテ侍リ。タ、シ念佛ノトキ。心ノ散乱シ。妄念ノオコリ候ヲハ。イカ、シ候ヘキト。上人ノタテハク。欲界ノ散地ニ。生ラウクルモノ。心。アニ散乱セサランヤ。煩惱具足ノ凡夫。イカテカ。妄念ヲト、ムヘキ。ソノ條ハ源空モチカラ。ヲヨヒ候ハス。心ハ千リミタレ。妄念ハキホヒ。オコルトイヘトモ。口ニ名号ヲトナハハ。弥陀ノ願力ニ乗シテ。決定往生スヘシト。申サレケレハ。コレウケ給候ハシタメニ。ノイリテ候ツルナリトテ。僧都ヤカテ。退出シ給ニケレハ。初對面ノ人一言モ。世間ノ禮儀ノ詞ナクシテ。退出セラレヌルコトヨトテ。人々タウトヒアヒケリ。上人ウチヘイリ給テ。心ヲシツメ。妄念オコサヌシテ。念佛セントオモハンハ。ムレツキノ目鼻ヲトリハナチテ。念佛セントオモハンカ如シ。アチコトクシトソ。仰ラレケル

第四段

ソノ後ハ。僧都フカク。上人ニ帰シ。專修ノ行。ヲコタリナカリケルカ。念珠ヲ。ハヤククリテ。數遍オホキ事ヲハ不實ノキハ。リナリトテ。オホキニ不受セラレケルニ。アルトキ。修行者一人キタリテ。毎日ノ念佛ハ。イカホトヲカ。所作トサタムヘク候ラント。タツ子申ケルニ。御房ハ。イクラ程ヲ由サル、ソト。カヘシトハレケレハ。毎日百萬遍ヲ申ヨシヲ答フルニ。例ノ不實ノモノトテ。返答

ニモ及ハスシテ。ウテヘイラレニケレハ。修行者モ帰ニケリ。僧都チト
 マトロミ給ヘル夢ニ。貴ケナル僧キタリテ。ツケテノ給ハク。毎日百
 萬遍ノ行者ヲ。イヒサマタケヌル事。ハナハタシカルヘカラストテ。モテ
 ノホカナル。氣色ニテ。ワレコレ善導ナリト。仰ラルトミテ。ヲトロキヌ
 遍身ニアセナカレ。胸サハキテ心ノヲキドコロナキマテ。カナシクオホ
 エテ。時尅イクホトヲヘサリ。ケレハ。カノ修行者ヲ。ヨビカヘシテ。コ
 ノヨシヲカタリ。前非ヲク井ンタメニ。人ヲ方々ニワカチツカハシテ。ヲ
 ハセラレ。高野中ヲ。タツ子サセラル。ニ。ツ井ニユキカタヲシラスナリ
 ニケリ。僧都申サレケルハ。日來ハヤクリノ數友ヲ不受スル事。佛
 意ニソムケルユヘニ。化人ノツラシメサレケルナリ。實ノ修行者ニハア
 ラサリケリトテ。其後ハミツカラモ。ツ子ニ百萬友ノ數遍ヲソ。セラ

レケル。僧都ノ夢想ヲモチテ。コレヲ思ニ。上人數反ヲス。メ給
 ヘル事。アニ和尚ノ尊意ニカナハサラシヤ。タ、アフキテ信ヲトルヘ
 シ。ヲロカナル心ヲモチテ。コレヲアサケル事ナカレ

第五段

僧都ヒトヘニ。上人ノ勸化ヲ仰信シ。フタ心ナカリケレハ。上人ノ
 滅後ニハ。カノ遺骨ヲ一期ノアヒタ。頸ニカケテ。ノチニハ。高野ノ
 大將法印貞曉鎌倉相傳セラレケリ。筈山三十年ノアヒタ。
 朝ニハ自誓戒舍利講。夕ニハ臨終ノ行儀ヲ修シ。惣シテ六時
 ノ同音念佛。日々夜々ニヲコタル事ナシ。他ノタメニハ。人ノノソ
 ミニシタカヒテ。頭密ノ法門ヲ談セラレケシトモ。自行ニハ一向称名
 ノホカ。他事ヲミジヘス。長齊持戒ニシテ。草菴ヲイツルコトナシ。練行

トシフリテ。薰修日アヲタナリ。サテモ。穢土ノ縁ツキテ。西土ノ望
チカツキケルニヤ。貞應三年四月上旬ノコロヨリ。イサカ。風病ニラ
カサレ。寢食例ニ違シケレハ。門弟等オノク。詰番シテ。者病ヲイ
タシ。念佛ノコエヤム時ナシ。病ニシツムトイヘトモ。法門ノ談議日
コロニカハラス。日ヲフルマニ。經論ノ明文ヲ誦シテ。念佛イヨク
強盛ナリ。ツ井ニ六月十六日子。尅頭北面西ニレテ。念佛相續
シ。禪定ニ入カコトク。イキタエ給ニケリ。生年八十三ナリ。ミル人隨
喜ノ感涙ヲナカシ。キク人存世ノ德行ヲソ。シタイケル

傳繪詞卷三終

黒谷上人繪詞第四目錄

卷十七 安居院聖覺法印事 上人瘡病事

卷十八 聖覺法印念佛門入事 上野國圓明房墓詣事 選擇集簡要進覽事 同第三段弥陀如来本願事 付女人往生事

卷十九 月輪殿北政所御返状事 阿波介事

或山僧示念佛事 尼聖如房遣御状事

仁和寺尼示念佛事

二十

河内國四郎入道教阿弥陀佛示念佛安心事

沙弥隨蓮示念佛安心事

上人三心沙汰事

遠江國作佛房示御詞事

熊野山證誠權現事

黒谷上人傳繪詞第十七卷

第一段

安居院ノ法印聖覺ハ入道少納言通憲ノ孫子。法印木僧都澄憲ノ真弟ナリ。叡山竹林房ノ法印靜嚴ヲ師トス。論説二道ヲカ子テ。智辨人ニスクレタリキ。シカルニ宿習ノイタリニヤ。アリケン。深上人ノ化導ニ帰シテ。浄土往生ノ口決ヲウク。太和前司親盛入道御往生ノ後ハ疑ヲタレノ人ニカ。決スヘキト。上人ニトヒタテマツリケルニ。聖覺法印。ワカ心ヲシレリトノ給ヘリ。浄土ノ法門ニヲキテ。所存ノコサレサル事。シリヌヘシ。サレハカノ法印。一卷ノ書ヲ制作シテ。ヒロク念佛ヲスム。世間ニ流布シテ。唯信鈔ト号スルコレ也。カノ書ニ

云。罪ヲカクハ。イヨイヨ。極樂ヲ子カフヘシ。不簡破戒罪根深
トイヘリ。善スクナクハ。マスマス。弥陀ヲ念スヘシ。三念五念佛
来迎トイヘリ。ムナシク。身ヲ卑下シ。心ヲ怯弱ニシテ。佛智
不思議智ヲ。疑事ナカレタトハ。人タカキ岸ノシタニアリテ。ノホ
ル事アタハサランニ。チカラツヨキ人。岸ノ上ニ在テ。網ヲオロ
シテ。コノ網ニトリツカセテ。ワレ岸ノ上ニ引登セントイハシニ
ヒク人ノチカラヲ。ウタカヒ。網ノヨハカラシ事ヲ。アヤフミテ。
手ヲオサメテ。コレヲトラスハ。更ニ岸ノ上ニホルヘカラス。偏
ニソノ言ニシタカヒテ。掌ヲノヘテ。コレヲトラシニハ。即ノホル事
ヲウヘシ。佛カラウタカヒ。願カラタノマサル人ハ。菩提ノ岸
ニ。ノホル事カタシ。只信心ノ手ヲノヘ。誓願ノ網ヲトルヘシ。

電光朝露ノ命。芭蕉泡沫ノ身。ワツカニ一世ノ勲修ヲモ
テ。忽ニ五趣ノ古郷ヲ。ハナレントス。豈ユルク諸行ヲ兼ン
ヤ。諸佛菩薩ノ結縁ハ。隨心供佛ノ朝ヲ。期スヘシ。大小
經典ノ義理ハ。百法明門ノ暮ヲ待ヘシ。器扱トツ侍ヌル。
コノ法印ヲカク。上人ノ勸化ヲ。信敬ノアヒタ。處々ニシテ。説
法ノタヒコトニハ。弥陀ノ本願ヲ。讚嘆シ念佛ノ功能ヲ。ホメ
申サレケルヲ。上人キ、給テ。コレヒトヘニ。善導ノ御方便機
感純熟ノ折節也。然ヘキ名僧。專修念佛ノ義ヲ信シテ。
所々ニシテ。講釈セハ。念佛ノ弘通何事カ如之哉ト。悦
仰ラレテ。法印ノモトヘ。申ツカハサレケルハ。法華經ノ中ニ
ハ。定マリテ。阿弥陀經ヲ制供養セラル、ナレハ。イカナル所ニ

テモ。機嫌サマテ。マシカラサラシ所ニテハ。阿弥陀經ニツキ
テ。四十八願ノ様ヲ。釈シノヘラレ候ヘキヨシ。クハシク授ラレ
ケルトナン

第二段

元久二年八月ニ。上人瘡病ヲワツラヒ給事アリケリ。月輪
殿キコシメシ。オトロキテ。醫師ヲメサレ。種々ノ療方ヲツ
クサルトイヘトモ。治術カナハサリシカハ。トリワキ冥助ヲア
カレ。御祈請アラシタメニ。度摩ノ法眼澄賀ニオホセテ。善
導和尚ノ真影ヲ。圖繪セラレ。後京極殿。ソノ銘ヲカ、セ
給テ。安居院ノ法印聖覺僧都ニ御導師參勸スヘキ
ヨシ。仰ラルニ。法印申ケルハ。聖覺モ瘡病ノ事候カ。明日ハ

オコリ日ニテ候ヘトモ。貴命ノガレカキウヘ。師範ノ恩ヲ報
セシタメニ。參勸スヘク候。夕、早且ニ御佛事ヲハシメラル
ヘシトテ。翌日拂曉ニ。小松殿へ參シテ。辰時ヨリ說法ヲハシ
メテ。未尅ニ結願ス。ソノ說法ノ木底ハ。太師釈尊。ナヲ衆生
ニ同シ給トキハ。ツ子ニ病惱ヲウケ。療治ヲモチ井タマフ。イハ
ンヤ。凡夫血肉ノ身。イカテカ。ソノ愁ナカラシ。シカレトモ。淺智
愚鈍ノ衆生ハ。コノコトハリヲシラス。サダメテ。疑心ヲナサンカ。
上人ノ化導ステニ。佛意ニカナフユヘニ。マノアタリ。往生ヲトク
ルモノ。ソノカスヲシラス。シカレハ。諸佛菩薩諸天龍神イカテ
カ。衆生ノ不信ヲ。ナケカサラン。四天大王。佛法ヲメモリ給ハ。
カナラス。ワカ太師上人ノ病惱ヲ。イヤシ給ヘト。子ンコロニ申

ノへ給ケレハ。善導ノ御影ノ御前ニ。異香シキリニ薰シ上
人モ聖覺モ。トモニ。瘡病オチニケリ。聖覺自嘆シテ。先師法
印ハ炎旱ノ御祈禱ニ。大内ニシテ。唱導ヲツトメ。當座ニ兩
ヲフラシテ。名譽ヲホトコシキ。聖覺カ身ニハ。コノ事第一ノ
高名ナリトソ。申サレケル。マコトニ未代ノ奇特ソノコロノ口
遊ニテソアリケル

第三段

法印ヒトヘニ。上人ノ勸化ヲ信伏シテ。念佛往生ノ口傳相承。
ソノカクレナク。名譽アリシカハ。承久三年ノコロ。但馬宮親王
念佛往生ニ。糸々ノ不審ヲタテ。時ノ名譽アル先達ニ。御
尋アリケリ。コノ法印ソノ專一ナリ。カノ請文ニ云。御念佛

ノアヒタノ。御用心ハ。一切ノ功徳善根ノナカニ。念佛取上ニ
候。十惡五逆ナリトイヘトモ。罪障マタク。ソノ障トナラス。
一称一念ノチカラ。決定シテ。往生セシムヘキヨシ。眞實堅固
ニ。御信受候ヘキナリ。聊モ猶豫ノ儀。ユメユメ候ヘカラス。或ハ
身ノ懈怠不淨ニハ。カリ。或ハ心ノ散乱妄念ニオソレテ。往
生極樂ニ。不定ノオモヒヲナスハ。極タルヒカ事ニテ候。佛意ニ
ソムクヘク候ナリ。日々ノ御所作更ニ不淨ヲ憚思食ヘカラス
候。念佛ノ本意ハ。タ、常念ヲ要トシ候。行住坐卧時處諸
縁ヲ簡ハス候。但毎月下口ナトハ。誠御精進齋ニテ。御
念佛候ヘキ也。ソノ外。日々ノ御所作ハ。御手水ハカリニテ候
ヘキ也。取證又嘉祿二年ノコロ。後鳥羽院遠所ノ御所ヨリ。

西林院ノ僧正兼四ニ仰下サレケル。御書ニモ。散心念佛ノ事。一定出離シ又ヘク候ハンヤウ。明禪聖覺ナトニクハシク尋サクリテ。寂上ノ至要ヲシルシ。申サルヘキヨシ。仰下サレケレハ。法印コマカニ。シルシ申サレケルトナン

第四段

上人ノ第三年ノ御忌ニアタリテ。御追善ノタメニ。建保二年正月ニ真如堂ニシテ。七箇日ノアヒタ。道俗ヲアツメテ。融通念佛ヲス。メラレケルニ。往生ノ要樞安心起行ヤウ。上人勸化ノム子。コマコマト。人々マヒテ。コレモシ。我大師法然上人ノ仰ラレヌコトヲ申サハ。當寺ノ本尊御照罰候ヘト。誓言再ニニ及テ。ノチモシナヲ不審アラン人ハ。鎮西ノ聖光

房ニタツ子トハルヘシト申サレケレハ。聽衆ノ十カニ。下人ノ隱遁ノ僧アリケルカ。草菴ニカヘラスシテ。スクニ筑後國ニクタリテ。聖光房ニ謁シ。法流ヲツタヘ門弟トナリ。九州弘通ノ法將トソナリニケル。敬蓮社トイヘルコレナリ。法印追福心サニアラハレテ。諸人ノ隨喜ハナハタシクソ。アリケル

第五段

カノ法印。一山ノ明匠四海ノ導師トシテ。公家ノ勅喚諸亭ノ招請ヒマナカリシカトモ。西土往生ノ心サシフカク。祇名念佛ノ行。ヲコタリナクシテ。ツ井ニ文曆二年三月五日生年六十九ニシテ。端坐合掌シ。念佛數百返ヲトナヘ。往生ノ素懷ヲトケラレケル。マコトニカシコク。タウトクソ侍ル

第六段

上野國ノ國府ニ明圓トイフ僧侍リキ。遊行聖リノ念佛申テ。トホリケルヲ。トメヲキテ。道場ヲカマヘ。念佛ノ真行シケル程ニ。或レ夜ノユメニ貴僧キタリテ告テ云。念佛申モノハ。カナラス極樂ニ往生スル也。敢テ疑事ナカレ。未代惡世ノ衆生ノ出離解脱ノ道。念佛ニスキタルハナシ。我ハ吾朝ノ大導師聖覺トイフモノ也。法然上人ノ教ニヨリテ。弥陀ノ本願ヲ信シ。念佛ヲ行シテ。極樂ニ往生シタル也トテ。一期ノ行狀。往生ノ次第。コマカニカタリ給テ。イマコノ道場ノ念佛ニ結縁センカタメニ。常ニコノ道場ニアルナリ。但十一月ニハ。本所ニ法談ノ事アルニヨリテ結縁ノタメニ。必本所ニカ

ヘルヘシ。法談以後ハ。又コノトコロニカヘリテ。念佛ニ結縁スヘキ也トノ給ヘリ。夢サメテ後。不思議ノ思ヲナシ。聖覺トイヘル人ハ。イツレノ所ノ人ソ。吾朝ノ大導師トハ。何事ソト。タツヌルニ。シリタリトイフモノ。ナカリケレハ。明圓鎌倉ヘホリテ。日光ノ別當僧正ノ房ニイタリテ。尋申ス。聖覺法印トイヘルハ。京都ノ安居院トイフ所ニ侍リキ。天下ノ大導師ノ名譽ノ能説ナリシカハ。シラヌ人ハナシト。仰レケレハ。ヤカテ上洛シテ。安居院ノ舊跡ヲタツ子。嫡弟憲實法印ニ。夢ノ次第ヲカタルニ。在世ノ行狀トイヒ。往生ノ次第トイヒ。丁事トシテ。違スル事ナシ。就中十一月一日ヨリ。天台大師講ヲ始行シテ。廿四日マテ。毎日ノ講經終日ノ論談ナリ。シカル

二十一月二八。本所ニ法談アリ。結縁ノタメニ。必ス本所ニ歸ヘキ
ヨシ。示サル事。コノ講演ノ砌ニ。影向ノ段疑ナシトテ。憲實
法印感涙ヲフ。ナカサレケル。明圓ハ聖覺法印ノ墳墓ニ
ウテ。夢ノ中チノ勸化ヲヨロコヒ。歡喜ノ涙ヲナカシ。二心ナキ。
專修ノ行者ニナリニケレハ。本國ニカヘリテハ。自行化他ノツト
メ。念佛ノ外。他事ナカリケリ。其後ハ。安居院ノ墓詣トナ
ツケテ。毎年ニ上洛シテ。カノ墳墓ヘソマウテケル。二期ノアヒタ
念佛ヲコタルコトナクシテ。瑞相ヲアラハシ。端坐合掌シテ。數
百遍ノ念佛ヲトナシ。殊勝ノ往生ヲ遂ニケリ。子息明心幼
穉ノ程ハ。明圓カ後家ノ尼年コトニ。安居院ノ墓詣ヲシケ
ルカ。明心成人ノ後ハ。年コトニ。明心上洛シケリ。明心又兼日

ニ。往生ノ時日ヲサシテ。イスニホリテ。念佛數百返ヲト
ナヘ。端坐合掌シテ。往生ノ素懷ヲ。遂ニケレハ。其後ハ。明
心カ子息明觀。毎年上洛シテ。墓詣ヲシケル。コノ念佛
衆ハ。聖覺ノ舊跡ヲ。念佛ノ本所ト仰崇シケルニヨリテ。或
年。明觀上洛ノ時。憲實法印ノ嫡弟憲基法印ニ。ソノミ
申様。コノ念佛盡未來際退轉スヘカラサルヨシ。僧衆ノ
中ニ。御下知ヲ下サルヘキヨシ。申ケルニヨリテ。弥陀本願ノ念佛
ハ。濁世末代ノ出離解脱ノ要法ナルイハレ。盡未來際退轉
スヘカラサルヨシ。懇懃ニ書下サレケレハ。御下知ノ旨ニマカセテ。
ヒトヘニ。本願ヲアフキ。念佛退轉アルマシキヨシ。僧衆等請
文ヲサケ。念佛イヨイヨ子シコロナリケレハ。國中ノ貴賤歸

敬ノ掌ヲアハセ。結縁ノオモヒヲカシ。天竺震旦我朝三國ノアヒタニ。多ク人師念佛ノ勸化ヲイタストイヘトモ。未夢ノ中ノ勸化ヲキカス。コノ法印ノ勸化マコトニメツラシク。貴モ侍ルカナ

第十八卷

第一段

上人製作ノ選擇集八月輪殿ノ仰ニヨリテ。エラヒ進セラ。ルハトコロ也。ケダシ念佛往生ノ電鏡タリ。ソノ簡要少々シルシ侍ヘシ。カノ集ノ第一段云。道綽禪師聖道淨土ノ二門ヲタテ。聖道門ヲステ。淨土ニ歸スル文問云。一切衆生皆佛性アリ。速劫ヨリコノカタ。オホクノ佛ニアフヘシ。ナニ

ヨリテカ。イマニイタルマテ。ナヲミツカテ。生死ニ輪廻シテ。大宅ヲ出サルヤト。答云。二種ノ勝法ヲエテ。生死ヲハラハサルニヨリテ。コノモチテ。大宅ヲイテス。ナニモノヲカ。ニツトスル。ツニハイハク。聖道。ニツニハイハク淨土ナリ。ソノ聖道ノ二種ハイマノ時ニ證シカタシ。一ニハ大聖ヲサルコト。遠速ナルニヨル。二ニハ理ヲカクサトリ微ナルニヨル。コノ故ニ。大集月藏經云。ワカ末法ノ時ノ中ノ億々ノ衆生行ヲオコシ。道ヲ修ストモ。イマタ一人トシテ。ウルモノアラシ。當今ハ。末法濁惡世ナリ。タ、淨土ノ下門ノミアリテ通ヘスヘキミチナリ。コノ故ニ。大經云。モシ衆生アリテ。タトヒ下生惡ヲツクルトモ。命終ノ時。ソクミテ。十念相續シテ。ワカ名字ヲ稱ヒンニ。若ムマレスハ。正覺ヲトラシ。又

一切衆生スヘテ。ミツカラハカラス。モシ大乘ニヨラハ。真如實相
 第十義空カツテイマタ。心ニラカズ。モシ小乘ヲ論セハ。見諦
 修道ニ修入シ。乃至那含羅漢五下ヲ斷シ。五上ヲソク
 コト。道俗ヲトフ事ナク。イマタ其分アラス。タトヒ。人天ノ果
 報アレトモ。ミナ五戒十善ノタメニ。ヨクコノ報ヲマ子ク。然ニタ
 モチウルモノハ。ハナハタマレナリ。モシ起惡造罪ヲ論セハ。ナソ
 暴風驟雨ニコトナラン。コヲモテ。諸佛ノ太慈ス。メテ。淨
 土ニ歸セシメ給フ。タトヒ。一形惡ヲツクルトモタ。ヨク意ヲ
 カケテ。專精ニツ子ニ。ヨク念仏スレハ。一切ノ諸障自然ニ消
 除シテ。サタメテ。往生スル事ヲウ。何ソ思量セスシテ。スヘテ
 去心ナキヤ。私ニ云。淨土宗ノ學者マツスヘカラク。此旨ヲシ

ルヘシ。タトヒサキヨリ。聖道門ヲ學セル人ナリトイフトモ。
 淨土門ニラキテ。ソノ心サシ。アランモノハ。スヘカラク。聖道ヲ
 ステ。淨土ニ歸スヘシ。例セハ。カノ曇鸞法師ハ。四論ノ講説
 ヲステ。一向ニ淨土ニ歸シ。道場禪師ハ。涅槃ノ廣業ヲ
 サシラキテ。ヒトヘニ西方ノ行ヲヒロメシカコトシ。上古ノ賢哲
 ナラモツテ。カクノコトシ。末代ノ愚魯ムシロ。コレニシタカハサ
 ラシヤ

同第三段云。弥陀如来餘行ヲモテ。往生ノ本願トセス。タ。念
 佛ヲモテ。往生ノ本願トスル文トイヒテ。无量壽經上卷本
 願ノ文以下ヲヒケリ。私詞云。問云。ア。マ子ク諸願ニ約シテ。
 麤惡ヲエラヒステ。善妙ヲエラヒトル事。ソノ理シカルヘ

シ。ナシノユヘツ第十八ノ願ニ。一切ノ諸行ヲエラヒステハ。タ
ヒトヘニ。念仏ノ一行ヲエラヒトリテ。往生ノ本願トスルヤ。答
云。聖意ハカリカタシ。タヤスク解スルニアタハス。シカリトイ
ヘトモ。イマコノロミニ。ニツノ義ヲモテ。コレヲ解セン。ニハ勝劣ノ
義ニハ難易ノ義也。初ニ勝劣トイフ。念佛ハスクレ。餘行
ハ劣ナリ。ユヘイカントナレハ。名号ハコレ。萬徳ノ歸スル所也。シ
カレハスナハチ。弥陀一佛ノアラユル。四智ニ身十力四无畏等
ノ一切ノ内證ノ功德相好光明說法利生等ノ一切ノ外用ノ
功德ニナコトコトク。阿弥陀佛ノ名号ノ中ニ。攝在セリ。カルカ
ユヘニ。名号ノ功德モトモ。スクレタリトス。餘行ハシカラス。ヲノヲ
ノ。一切ヲモル。コノヲモテ。劣トスタトヘハ。世間ノ屋舎ノコトシ。

ソノ屋舎ノ名字ノ中ニハ。棟梁椽柱等ノ一切ノ家具ヲ攝
ス。棟梁等ノ下々ノ名字ノ中ニハ。一切ヲ攝スルコト。アタハス。
コレヲモテシリ又ヘシ。シカレハスナハチ。名号ノ功德ハ。餘ノ一切
ノ功德ニスクレタリ故ニ劣ヲステハ。勝ヲトリテモテ。本願
トスル歎。次ニ難易ノ義トイフハ。念仏ハ修シヤスク。諸行ハ
修シカタシ。擧カルカユヘニシリ又。念仏ハヤスキカユヘニ。一切ニ
通ス。諸行ハカタキカユヘニ。諸機ニ通ヒス。然則。一切衆生ヲ
シテ。平等ニ往生セシメンカタメニ。難ヲステハ。易ヲトリテ。
本願トスルカ。若シレ造像起塔ヲモテ。本願トセハ。貧窮
困乏ノタクヒハ。サタメテ往生ノソノミヲタシシカルニ。富貴ノ
モノハスクナク。貧賤ノモノハ。ハナハタオホシ。智慧高才ヲモ

テ。本願トセハ。愚鈍下智ノモノハ。定テ往生ノ望ヲタ、ン。
 シカルニ智惠ノモノハ。スクナク。愚鈍ノモノハ。ハナハタオホ
 シ。多聞多見ヲモテ。本願トセハ。少聞少見ノ輩ハサタ
 メテ。往生ノ望ヲタ、ン。シカルヲ多聞ノモノハスクナク。少聞
 ノモノハ。ハナハタオホシ。モシ持戒持律ヲモテ。本願トセハ。
 破戒无戒ノ人サタメテ。往生ノノツミヲタ、ン。シカルヲ。持
 戒ノモノハスクナク。破戒ノモノハ。甚多シ。自餘ノ諸行コレニ
 准シテシルヘシ。マサニシルヘシ。上ノ諸行等ヲモテ。本願トセ
 ハ。往生ヲウルモノハスクナク。往生セサルモノハ。オホカラシ。然
 則彌陀如来法藏比丘ノムカシ。平等ノ慈悲ニモヨホサ
 レテ。アマ子ク下切ヲ撰センカタメニ。造像起塔等ノ諸行ヲ

モテ往生ノ本願トセハ。タ、稱名念仏ノ一行ヲモテ。ソノ
 本願トスルナリ。甄問曰。下切ノ菩薩。ソノ願ヲタツトイヘ
 トモアルヒハステニ。成就セルモアリ。又イマタ成就セサルモアリ。
 イフカシ。法藏菩薩ノ四十八願ハ。ステニ成就セリトヤセン。
 ハナハタ成就セストヤセン。答曰。法藏ノ誓願ハ。下々ニ成就シ
 タマヘリ。イカントナレハ。極樂界ノ中ニ。ステニ三惡趣ナシ。マサニ
 シルヘシ。コレスナハチ。无三惡趣ノ願ヲ。成就シ給ヘルナリ。ナニヲ
 モテカ。シルコトヲウルトナラハ。スナハチ願成就ノ文ニ。又地獄
 餓鬼畜生諸難ノ趣ナシトイヘルコレナリ。又彼國ノ人天命
 ヲハリテノチ。三惡趣ニカヘルコトナシ。マサニシルヘシ。コレスナハチ。
 不更惡趣ノ願ヲ成就セルナリ。何ヲモテカ。シルコトヲウル

トナラハスナハチ。願成就ノ文ニ。又彼菩薩乃至成仏マテ。惡趣ニカヘラストイヘル。是ナリ。又極樂ノ人天ステニ。一人トシテ。三十二相ヲ具セル者アルコトナシ。正ニシルヘレ。是則具三十二相ノ願ヲ成就セルナリ。何ヲモツテシルコトヲ。ウルトナラハ。則願成就ノ文ニ彼國ニムマル、モノ。ミナコトコトク。三十二相ヲ。具足ストイヘル。是ナリ。カクノコトク。ハシメ无三惡趣ノ願ヨリ。ヲハリ得三法忍ノ願ニイタルマテ。下々ノ誓願ミナモテ。成就シタマヘリ。第十八ノ念佛往生ノ願。アニヒトリモテ。成就セサランヤ。然則念佛ノ人ミナモテ往生ス。何ヲモテカ。シルコトヲウルトナラハ。スナハチ。念佛往生ノ願成就ノ文ニ。諸衆生アリテ。其名号ヲキテ。信心歡喜シテ。乃至

念至心ニ回向シテ。彼國ニムマレシト願スレハ。則往生スルコトヲ得テ。不退轉ニ住ストイヘル。是ナリ。ヲヨフ四十八願ヲ以テ。淨土ヲ莊嚴セリ。華池寶樹。願カニアラストイフコトナシ。ナシソ。其中ニライテ。獨リ念佛往生ノ願ヲ疑惑スヘキヤ。シカノミナラス。下々ノ願ノヲハリニ。モレシカラスハ。正覺ヲトラシトイヘリ。シカルニ。阿彌陀佛成佛シテヨリコノカタ。今テヲキテ十劫也。成佛ノチカヒステニモテ。成就シ給ヘリ。正ニシルヘレ。下々ノ願ムナレク。設クヘカラス。故ニ善導ノ給ハク。彼佛今現ニ世ニマシクテ。成佛シ給ヘリ。正ニシルヘレ。本誓重願ムナレカラストイフコトヲ。衆生称念スレハ必ス。往生ヲウヒソレ速ニ生死ヲハナレントオモハ。二種ノ勝法ノ中ニ。シハラク聖道門ヲサ

シヲキテ。エラヒテ淨土門ニ入レ。淨土門ニイラレトオモハ。正雜
 二行ノ中ニシハラク。モロモロノ雜行ヲナケステハ。エラヒテ正行
 二歸スヘシ。正行ヲ修セントオモハ。正助二業ノ中ニナラ助業
 ヲ傍ニシテ。エラヒテ正定ヲモハラニスヘシ。正定ノ業トイフハ。ス
 十八チコレ。佛ノ御名ヲ稱スル也。名ヲ稱スレハ。カナラス。ムマルハ。コ
 トヲウ。佛ノ本願ニヨルユヘニト。シワカニオモンコレハ。善導ノ觀經
 ノ疏ハ。是西方ノ指南行者ノ目足也。シカレハ。ス十八チ。西方ノ行
 人カナラス。スヘカラク。珍敬スヘシ。就中ニ毎夜ノ夢ノ中ニ僧ア
 リテ。玄義ヲ指授セリ。僧トイフハ。オソラクハコレ。弥陀ノ應
 現ナリ。シカラハイフヘシ。コノ疏ハ。弥陀ノ傳説ナリト。イカニイ
 ハレヤ。太唐相傳シテイハク。善導ハコレ弥陀ノ化身ナリト。

シカラハイフヘシ。コノ文ハ。コレ弥陀ノ直説ナリト。ステニウツ
 サントオモハシモノハ。專ラ經法ノコトクセヨトイヘリ。コノコ
 トハ。マコトナルカナ。アフキテ本地ヲタツヌレハ。四十八願ノ
 法王ナリ。古劫正覺ノトナヘ。念佛ニタノミアリ。フシテ乘迹
 フトフラヘハ。專修念佛ノ導師ナリ。三昧正受ノコトハ。往生
 ニウタカヒナシ。本迹コトナリトイヘトモ。化道導コレツナリ。コ
 コニ貧道ムカシ。コノ典ヲ披閱シテ。粗素意ヲサトレリ。タチ
 トコロニ。餘行ヲトメテ。コノ念佛ニ歸ス。ソレヨリコノカタ。今
 日ニイタルニテ。自行化他。タ、念佛ヲコト、ス。然間マレニ津
 フトフモノニハ。シメスニ西方ノ通津ヲモテシ。タマタ下行ヲタ
 ツヌルモノニハ。念佛ノ別行ヲモテス。コレヲ信スルモノハオホク。

信セサルモノハスクナシ。聖抄念佛ヲ事トシ。往生ヲコヒ子
カハシ人。アニコノ書ヲイルカセニスヘケンヤ。

第二段

同製作ノ往生太要鈔ニ云至誠心トイフハ。眞實心ナリ。
ソノ眞實トイフハ。身ニフルマヒ。口ニイヒ。心ニオモハンコト。ミナ
人取ヲカザル事ナク。誠ヲアラハスナリ。シカルヲ。人ツ子ニ勇
猛強盛ノ心ヲオコスヲ。至誠心ト申ハ。コノ釈ノ心ニハタカフ
ナリ。又云ヨハキニ心具足シタラン人ハ。クラ井コソサガラシ
ズレ。ナヲ往生ハ。ウタカウヘカラハルナリ。又云外相ノ善惡ヲ
ハカヘリミス。世間ノ謗譽ヲハ。ワキマヘス。内心ニ穢土ヲイトヒ。
淨土ヲモ子カヒ。惡ヲモトメ。善ヲモ修シテ。マメトカニ。佛ノ

意ニカナハン事ヲ思フ。眞實ハ申也。又云カヤウニ申セ
ハ。ヒトヘニコノヨノ人目ハ。イカニモアリナシトテ。人ノクシリヲ
モ。カヘリミス。ホカヲカサラ子ハトテ。心ノマニフルマフカヨキ
ト。申ニテハナキナリ。ハウニマカセテフルマヘハ。放逸トテ。ワ
ロキ事ニテアルナリ。時ニソソミタル機嫌戒ノタメハカリニ。
イサ、カ人目ヲツムカタハ。ワサトモ。サコソアルヘケレ。又云
機嫌戒ト名テ。ヤカテ虚假ニナル事モアリ又ヘシ。コレヲ
カヘテ。ヨクヨク。コロエワクヘシ。又云。コノ義ヲ心エロカ又人ニ
コソ。アラシメレ。佛ノ本願ヲハ。ウタカハ子トモ。我心ノワルケン
ハ。往生カナハシト。申アヒタルカ。ヤカテ本願ヲウタカフニテ
侍也。サヤウニ申タチナハ。イカ程マテモ。佛ノ本願ニカナフヘ

シトカ。レリ待^ルヘキ。ソレヲワキマヘサラシニトリテハ。心ノワル
 サハツキセ。又事ニテコツアラシスレハ。今ハ往生シテシト。思
 タツ世ハアルマシ。佛ノ御^カヲハ。イカ程トシル。コレニスキテ仏
 ノ願ヲウタカフコトハ。イカ^ハアルヘキ。又云。タ^ハ心ノ善惡ヲモ
 カヘリミス。ツミノ輕重^{チカラ}ヲモワキマヘス。心ニ往生セント思テク
 チニ南无阿弥陀佛トトナヘハ。コエニツキテ。決定往生ノ思ヲ
 ナスヘシ。ソノ決定心ニヨリテ。スナハチ往生ノ業^{ゴウ}ハサタマルナリ。
 又云。カク心エヌレハヤスキナリ。往生ハ不定ニ思ヘハ。ヤカテ不
 定ニナリ。定ト思ヘハヤカテ。一定スル事也。又云。深信トイフ
 ハ。佛ノ本願ハ。イカナル罪人ヲモステス。タ^ハ名号ヲトナフル
 一^ハ声マテニ。決定シテ。往生スト。フカクタノミテ。スコシノ。ウタカ

ヒモナキヲ申ナリ。又云。ツミツクルヲモステ給ハ子ハ。心ニマカ
 セテ。ツクラシモ。クルシカルマシ。下念ニモ往生スナレハ。念佛ハ。オ
 ホク申サストモ。アリナント。ア^レク心ウル人ノイテキテ。ツミヲ
 ハユルシ。念佛ヲハセイスルヤウニ申ナスカ。返^クタモ。アサマシク
 候ナリ。ア^クヲス。ヌ。喜ヲトムル。佛法ハ。イカ^ハアルヘキ

第三段

上人太經ヲ叙シ給トキ。四十八願ノ中ノ第三十五ノ女人往
 生ノ願ノ意ヲ。ノヘテノ給ハク。上ノ念佛往生ノ願ハ。男女ヲ
 キラハス。然^ルニ余^レ別ニコノ願アル。ソノコ^トロイカニ。ツラツラコノ事
 ヲ察スルニ。女人ハサハリヲモシ。別シテ女人ニ約セスハ。スナハチ。
 疑^ハ心ヲ生スヘシ。ソノユ^ハハ。女人ハトカヲモシ。太^カ高^カ臺^カノ閣^カニ

モヘタテラレテ。梵衆梵補ノ雲ヲノソムコトナク。帝釈系ノ
 軟ノ床ニモ。クダサレテ。三十三天ノ花ヲ。モテアソフ事ナシ。六
 天魔王位。四種輪王ノ跡ノソミナカクダエテ。カケヲサス。生死
 有漏ノ果報。无常生滅ノミタナキ身トタニモナラス。イカニイ
 ハンヤ。佛ノクラ井ヲヤ。諸經論ノ中ニキラハレ。在々所々ニ擯
 出セラレテ。三途ノ難ニアラスハ。赴ヘキカタモ無ク。亦趣四生ニ
 アラスハ。受ヘキカタナシ。コノ日本ニモ靈地靈驗ノ砌ニハ。ミチ
 コトコトクキラハレタリ。比叡山ハ。傳教大師ノ建立。大師ニツ
 カラ結界シテ。谷ヲサカセ。峯ヲカキリテ。女人ノ形ヲイレサレ
 ハ。下衆峯タカクシテ。五障ノ雲タナセク。事ナク。一味ノ谷ヲ
 カクシテ。三從ノ水ナカル。事ナシ。高野山ハ。弘法大師結界ノ

ノ峯。真言上乘繁昌ノ地也。三密ノ月輪アマ子クテラストイ
 ヘトモ。女人非器ノヤミヲハテラサス。五瓶ノ智水ヒトシク。ナカ
 ルトイヘトモ。女人垢穢ノアカヲハス。カス。聖武天皇ノ御願。
 十六丈金銅ノ舍那ハルカニ。コレヲ拜見ストイヘトモ。ナラ扉
 ノ内ニハ。イレラレス。天智天皇ノ建立。五丈石像ノ弥勒。アフ
 キテコレヲ拜見スレトモ。ナラ壇上ニハ障アリ。乃至金峯ノ雲
 ノウヘ醍醐ノ霞ノソコ。女人更ニカケヲサス。悲哉兩足アリト
 イヘトモ。ホラサル法ノ峯アリ。フマサル佛ノ庭アリ。耻哉兩眼
 アキラカナリトイヘトモ。見サル靈地アリ。拜セル靈像アリ。コノ
 穢土ノ瓦礫荆棘ノ山泥木素像佛タニモ障アリ。イカニイハン
 ヤ。衆宝合成ノ浄土。萬德究竟ノ佛ヲヤ。コレニヨリテ。往生ソノ